

令和7年度第2回 木更津市総合計画審議会 資料

<u>目次</u>	
1. 実施目的	1
2. 検討（審議）内容	1
3. 検討（審議）スケジュール	2
4. 令和7年度調査結果報告	4
5. RAIDA-AI を用いた木更津市の現況分析	26

令和8年3月19日

木更津市企画部企画課

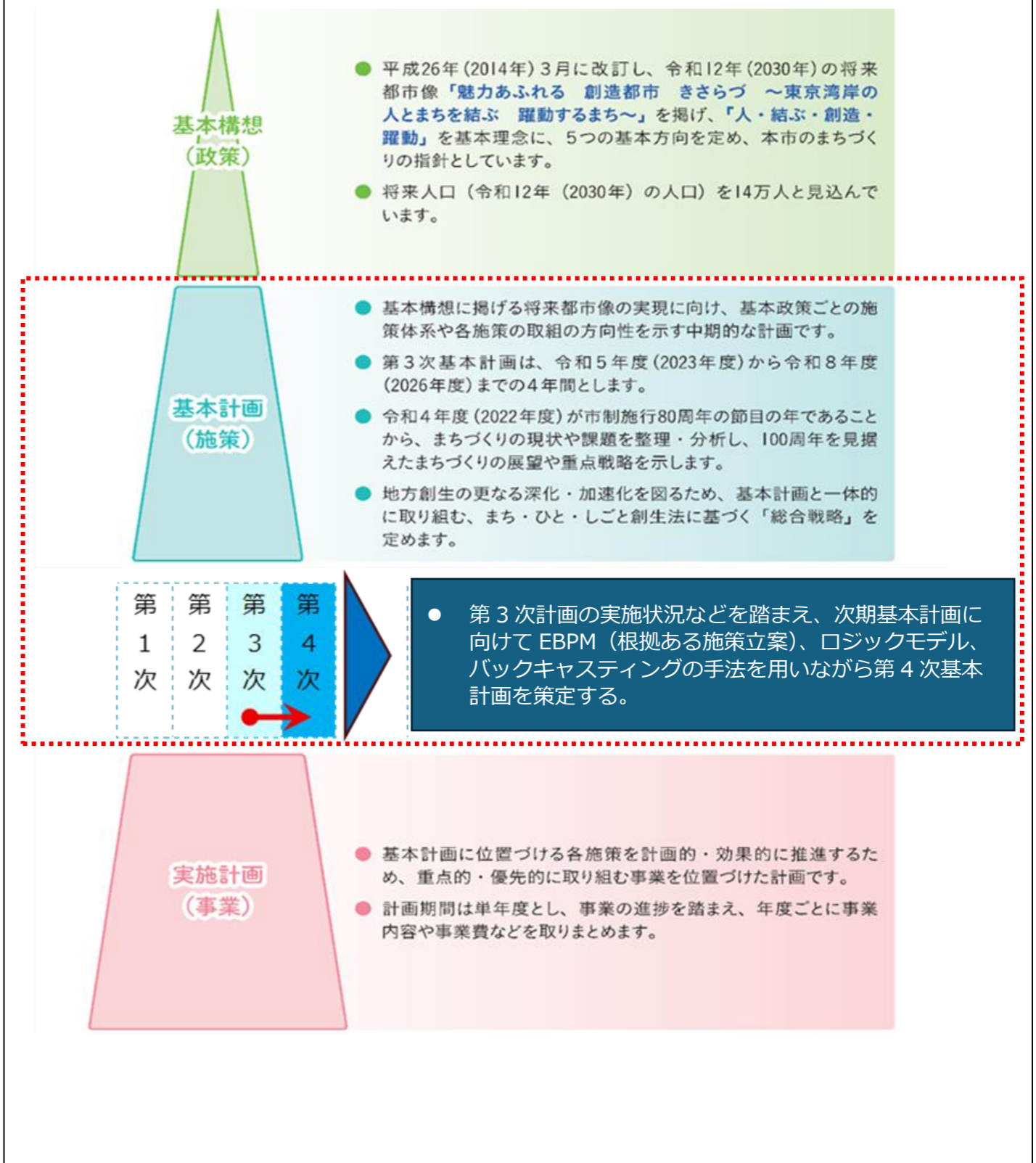
1. 実施目的

- 木更津市基本構想の将来都市像「魅力あふれる創造都市きさらづ～東京湾岸の人とまちを結ぶ躍動するまち～」の実現に向け、木更津市総合計画第3次基本計画（以下「第3次基本計画」という。）に基づき、諸施策を推進してきたが、令和8年度で計画期間が満了することから、引き続き、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するとともに、市制施行100周年を見据え、誰もが住みやすいまちを目指し、新たな時代にふさわしいまちづくりビジョンとなるよう、木更津市総合計画第4次基本計画（以下「第4次基本計画」という。）の策定を行う。また、第4次基本計画に位置付ける施策の実現に向けて、財政計画と連動した事業計画である実施計画の策定を行う。
- 併せて、第3次基本計画に位置付ける各施策を、地方創生の推進や戦略的な取組として整理し策定した、第3期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第3期総合戦略」という。）が令和8年度で計画期間が満了することから、基本計画との整合性を図りつつ、第4期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第4期総合戦略」という。）を第4次基本計画に内包し策定を行う。
- 本審議会は、第4次基本計画及び第4期総合戦略の策定に関して、専門的な見地から総合的な意見を受けることを目的とする。

2. 検討（審議）内容

- 本審議会は、第4次基本計画を策定するにあたって実施する以下項目の検討方針及びその検討結果に対して、その妥当性を検証するものである。
 - ① 基礎調査結果の妥当性検証：国内の社会経済動向の整理・分析、周辺自治体の動向を踏まえた本市の状況の整理・分析、将来人口の推計、SWOT分析の実施、政策分析の実施
 - ② 第3次基本計画及び第3期総合戦略の検証・評価
 - ③ 市民意見の聴取結果の検証：市民アンケートの回答分析・課題抽出、タウンミーティング（ワークショップ形式）の結果の妥当性検証
 - ④ 第4次基本計画及び第4期総合戦略の策定：構成案、基本計画骨子案、基本計画素案
 - ⑤ 基本計画書及び概要版のデザイン
 - ⑥ 進行管理の仕組み

■ 総合計画体系における本審議会の検討（審議）範囲

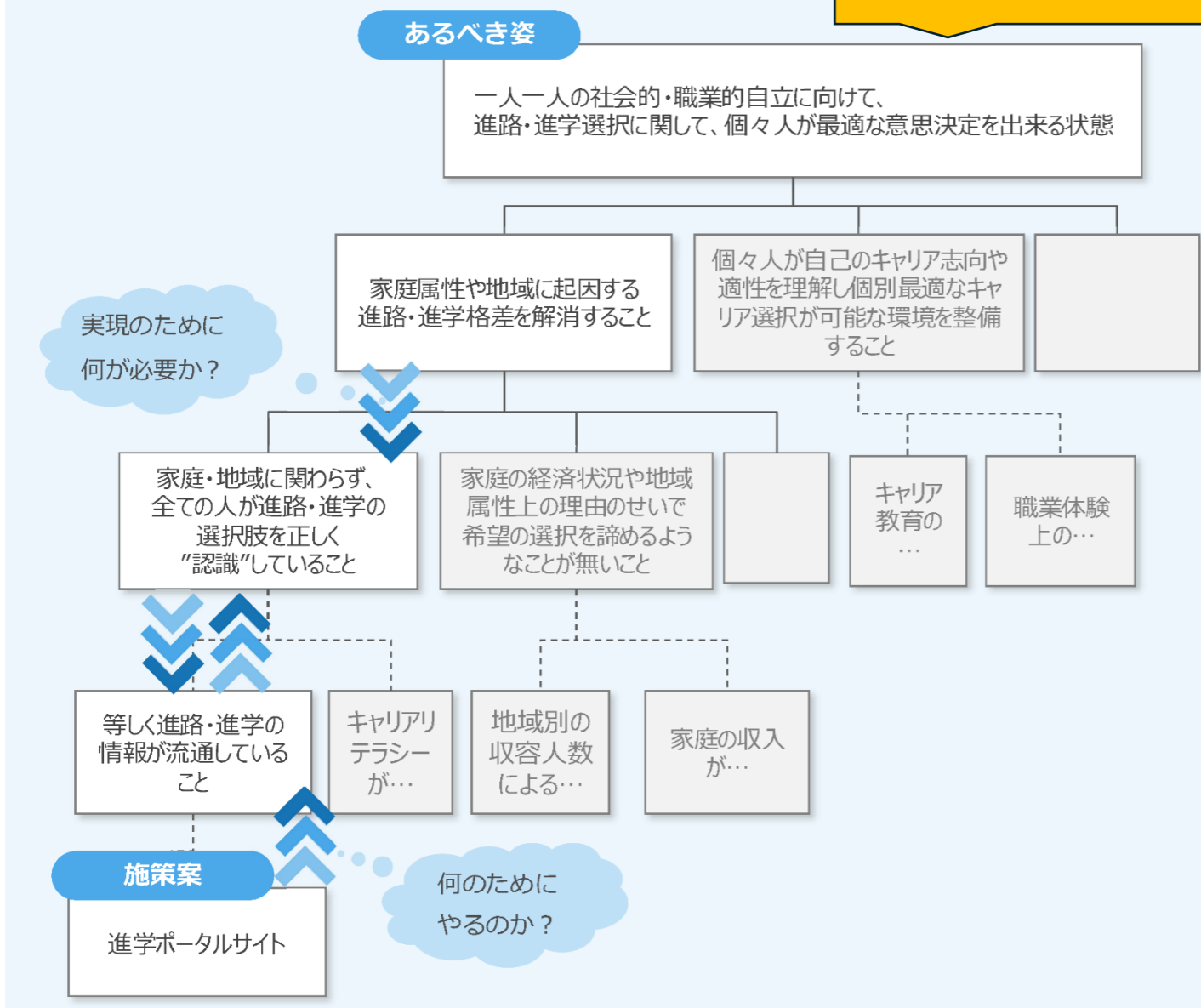


3. 検討（審議）スケジュール

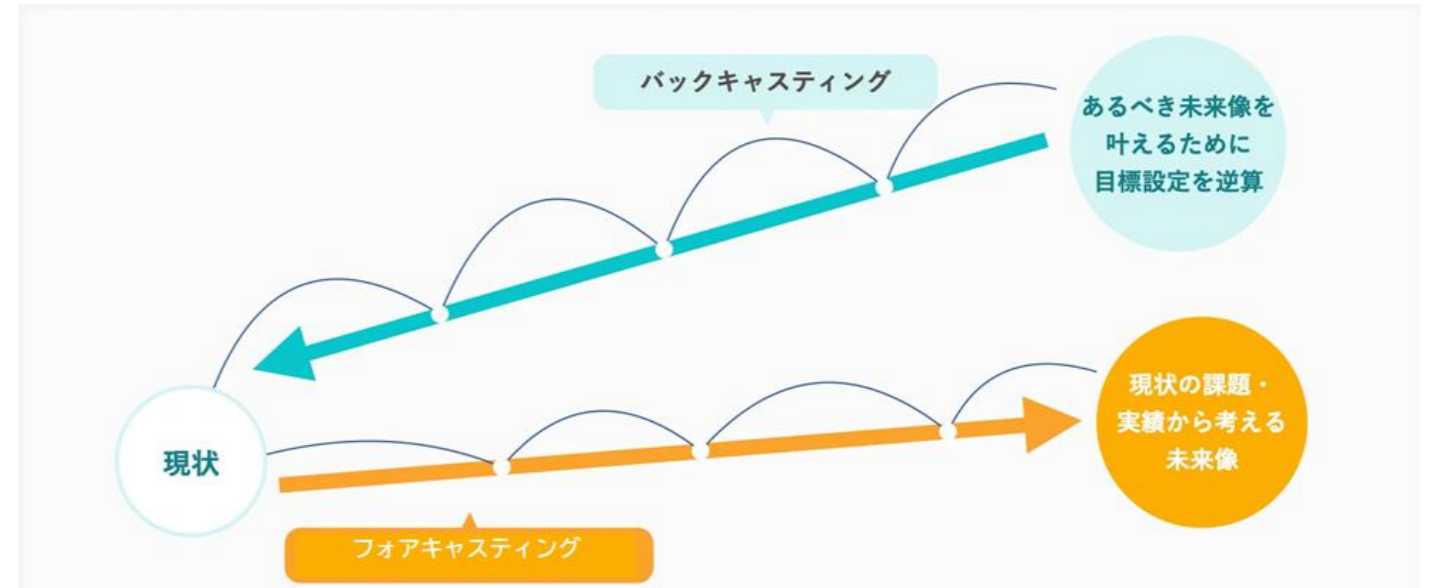
(1) 検討の流れの基本的方向性

- 現在、国では、地方版総合戦略や総合計画の策定において、ロジックモデルの適用を推進しているため、本基本計画策定においてもこれを採用する。
- また、ロジックモデルはこれまでの積み上げ式（フォアキャスト）ではなく、逆説的思考（バックキャスト）に基づくものであり、最終的に達成したい「理想の未来」から逆算して、必要な要素を論理的に整理する手法として非常に相性が良く、推奨されるアプローチである。
- 具体的なイメージは、以下の図とおりである。

あるべき姿から逆説的に、且つ論理的に施策を導く方法

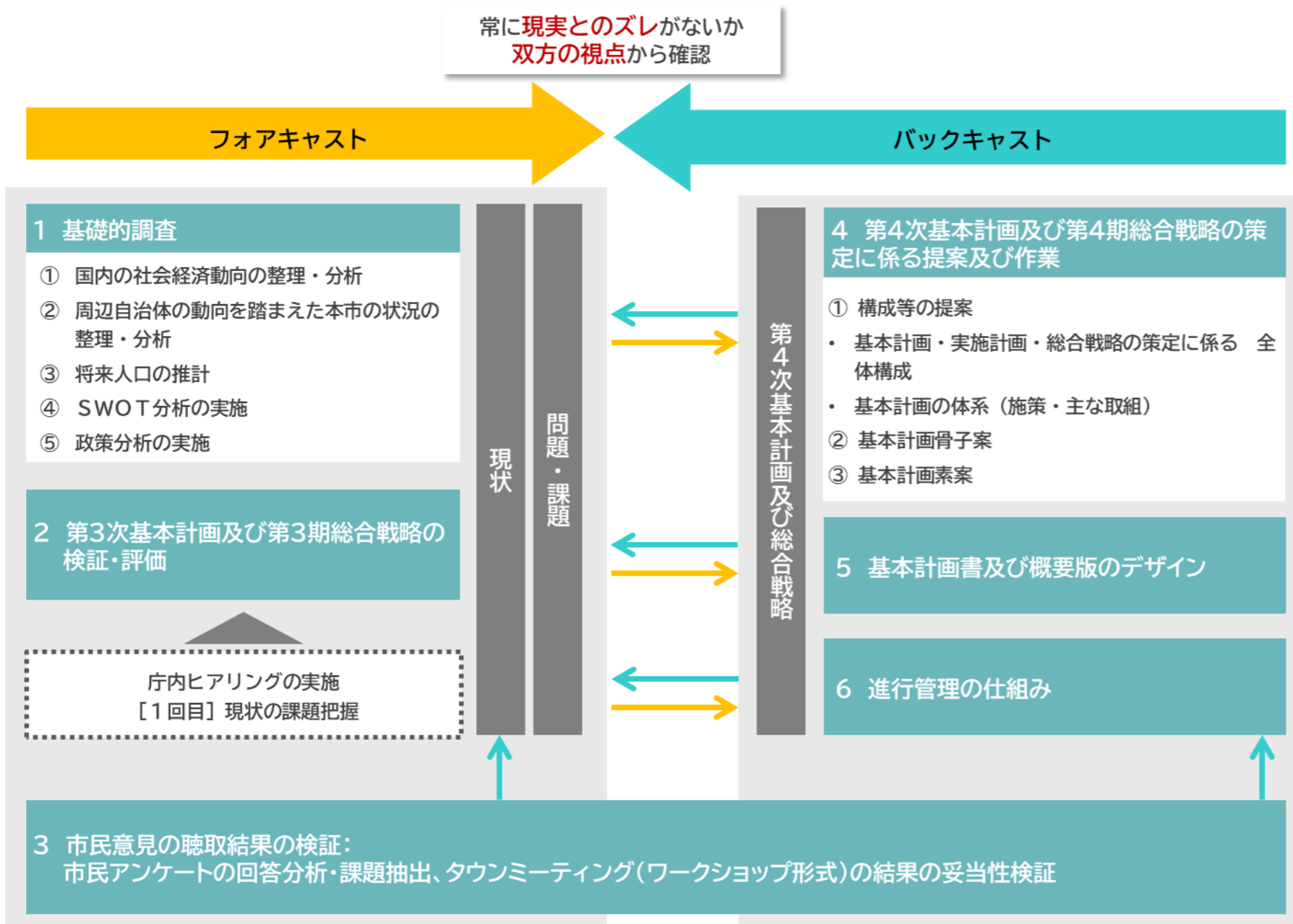


- また、ロジックモデルに逆説的思考（バックキャスト）を取り入れることにより、より高い目標（将来都市像）を設定することができるメリットがある。
- しかしながら、理想からの逆算のみに基づく場合、現状との接続が十分に整理されず、理想と実態の間に論理の飛躍（ギャップ）が生じる可能性があるため留意する必要がある。
- 一方、積み上げ式（フォアキャスト）は客観的データに基づき将来を見通す手法であり実現可能性の検証に有効であるが、そのみに基づく場合、目標水準が現状の延長線上にとどまり、視野の狭まりを招く可能性がある。
- このため本基本計画の検討では両視点を往復しながら検証を行うことで、構造的課題や重点的に対応すべき領域を早期に明確化し、短期間で実効性の高い計画策定を支援するものとする。



(2) 基本計画検討の流れ

- (1) の内容を踏まえ、本審議会における検討の流れ（スケジュール）を以下の通り設定する。



年月	基本計画策定	報告内容
R8.1		策定スケジュール検討 市民アンケートの実施 タウンミーティングの実施 基礎調査の実施
R8.2		
R8.3	R7第2回総合計画審議会(3.19) 第1回総合計画策定会議(3月中)	
R8.4	庁議(4or5月)	策定方針について (基本計画・総合戦略)
R8.5	R8第1回総合計画審議会 (R8.5.14) 第2回総合計画策定会議 (5月予定) 計画策定に係る庁内説明会 (5月)	令和7年度進行管理について 策定方針について 策定の進め方について 施策シートについて 施策シートの作成について
R8.6		
R8.7 ~ R8.9	R8第2回総合計画審議会 (7月~8月) 第3回総合計画策定会議 (8月~9月) R8第3回総合計画審議会 (7月~8月)	策定方針について 基本計画の構成、体系について 骨子案について 基本計画の構成、体系について 意見聴取について 進行管理の仕組み 骨子案について 意見聴取について 進行管理の仕組み
R8.10 ~ R8.11	市民への意見聴取として (みなトーク) 第4回総合計画策定会議 (10月~11月) R8第4回総合計画審議会 (10月~11月) 庁議(11月)	意見聴取期間(9月~10月) 基本計画・総合戦略(素案)について
R8.12	市議会(12月) 意見公募期間(12月~1月) 第5回総合計画策定会議 (1月~2月)	基本計画・総合戦略(素案)の 意見公募について 意見公募の結果について 基本計画・総合戦略(案)について
R9.1 ~ R9.3	R8第5回総合計画審議会 (1月~2月) 庁議(2月中) 市議会(3月)	基本計画・総合戦略(案)について

4. 令和7年度調査結果報告

(1) 基礎調査結果報告

① 国内の社会経済動向の整理・分析

■国政の動きの整理

首相官邸によると、令和8年2月18日閣議決定された基本方針は以下のとおりとなっています。

■国政の基本方針

<ul style="list-style-type: none"> ● 日本と日本人の底力を信じてやまない者として、「日本列島を、強く豊かに」する。そのため、今の暮らしや未来への不安を希望に変え、強い経済を作る。世界が直面する課題に向き合い、強い外交・安全保障を構築する。22世紀を迎える多くの今の若者・子供たちのために、安全で豊かな日本が、「インド太平洋の輝く灯台」となり、自由と民主主義の国として頼りにされるよう、この度の総選挙において国民の皆様から頂いた力強い御信任の下、内閣の総力を挙げて、以下の政策を推進し進める。 	
1. 強い経済の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々なリスクや社会課題に対し、官民手を携えて先手を打って行う「危機管理投資」や「成長投資」により、日本経済の強さを取り戻すための成長戦略を加速させ、軌道に乗せる。 ● 財政の持続可能性には常に配慮しつつも、「責任ある積極財政」の考え方の下、戦略的に財政出動を行うことにより、暮らしの安全・安心を確保するとともに、所得を向上させ、消費マインドを改善し、税収を増加させる。民間投資を促すため、政府予算の予見可能性を高める観点から、予算編成の在り方を抜本的に見直し、補正予算ではなく可能な限り当初予算に必要な予算を計上するとともに、複数年度の財政出動をコミットする仕組みを構築する。 ● 供給力の強化に向けて、内需の拡大とともに、外需の拡大が重要であることから、外国政府等との会談では、相手国市場のニーズを把握するとともに、日本製品の導入を働きかけ、その内容を内閣全体で共有する。 ● こうした基礎の上に、飲食料品に係る消費税減税や給付付き税額控除の検討を含めた物価高・手取り増加対策、経済安全保障の強化、食料安全保障、エネルギー・資源安全保障の確立、国土強靱化、サイバーセキュリティ対策の強化、健康医療安全保障の構築、人材総活躍の環境づくり、「新技術立国」に取り組む。
2. 地方を伸ばし、暮らしを守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方の「暮らし」と「安全」を守るため、地域ごとの産業クラスターの形成、地方のDX化の推進、地場産業の強化、地域公共交通の維持に取り組む。 ● 外国人との秩序ある共生社会の実現に向け、総合的な対策を推進する。組織犯罪対策等を講じ、治安の維持・向上を図る。 ● 万一、大規模な自然災害、テロ、感染症など、国家的な危機が生じた場合、国民の生命と財産を守ることを第一に、政府一体となって、機動的かつ柔軟に全力で対処する。 ● 東日本大震災、能登半島地震を始めとする大規模災害からの復興に全力を尽くす。
3. 外交力と防衛力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の国益を守るため、外交力・防衛力・経済力・技術力・情報力・人材力を含む総合的な国力を強化しつつ最大限活用し、我が国の平和と安全、繁栄、国際社会との共存共栄を実現する「平和と繁栄を創る『責任ある日本外交』」を展開する。 ● 日米同盟を基軸に、同志国やグローバルサウス諸国との外交・防衛・経済等の多角的な連携を拡大し、各国が自律性と強靱性を強化できるよう、「自由で開かれたインド太平洋」の取組を戦略的に進化させる。北朝鮮による拉致被害者の早期帰国に全力を尽くす。 ● 我が国の主体的判断において、防衛力の抜本的強化を図る。 ● 政府のインテリジェンス機能の抜本的強化に取り組む。

■国内の経済見通し

内閣府が令和8年度の経済見通しを発表し、令和8年1月23日に閣議決定された概要は以下の通りとなっています。

令和8年度（2026年度）政府経済見通しの概要

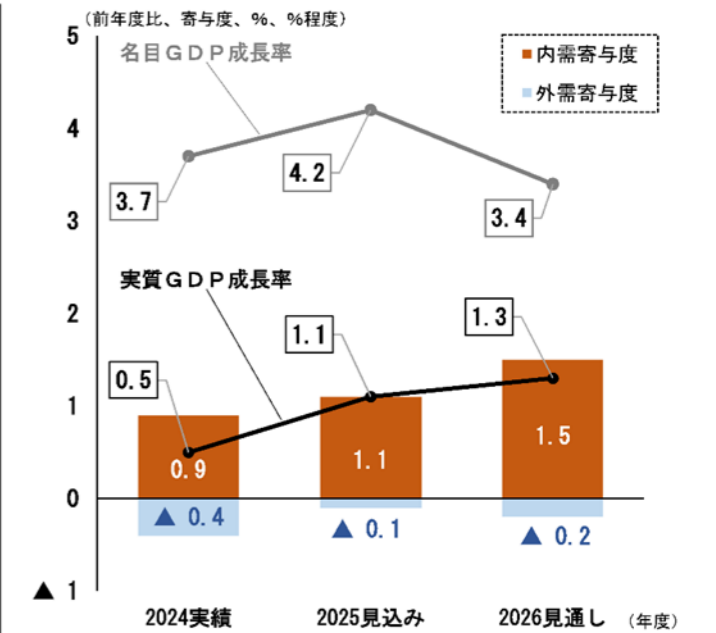
2025年度は、世界経済の先行きに不透明感が残る中でも、各種政策効果に支えられて、個人消費や設備投資の増加が経済の回復をけん引し、実質成長率は1.1%程度の見込み。

2026年度は、所得環境の改善が進む中で個人消費が増加するとともに、危機管理投資・成長投資の取組の進展等により設備投資も伸び率を高め、実質成長率は1.3%程度の見込み。

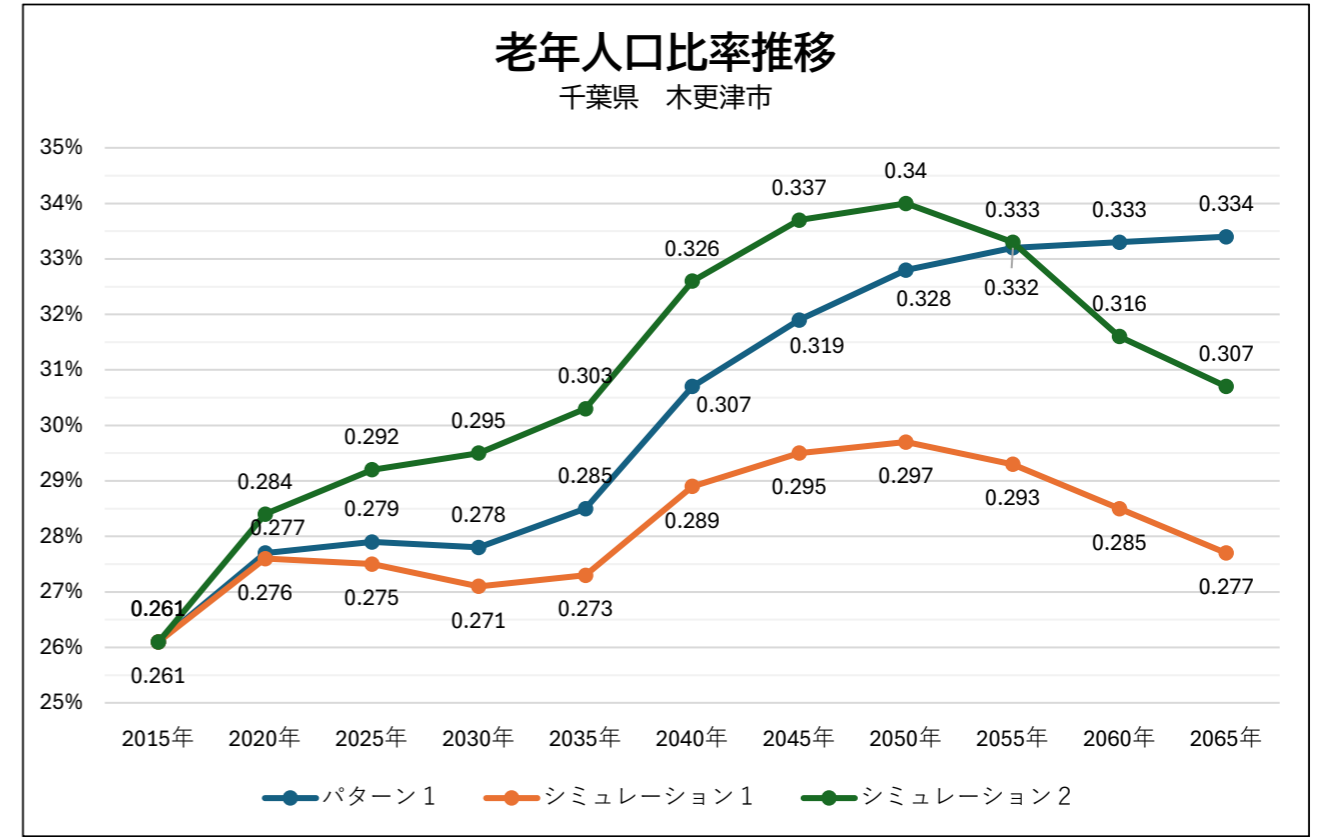
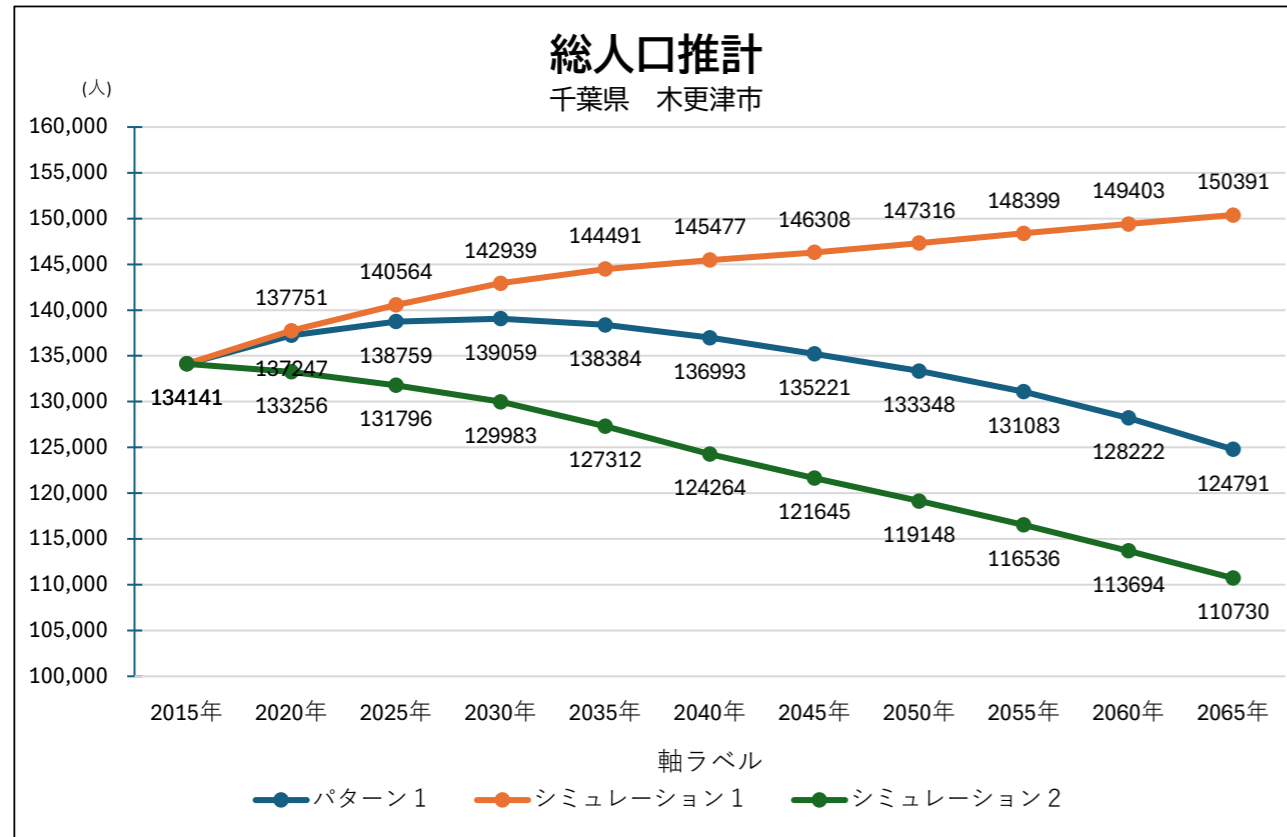
経済見通し主要経済指標

	2024年度 実績	2025年度 実績見込み	2026年度 見通し
実質GDP	0.5	1.1	1.3
個人消費	0.2	1.3	1.3
設備投資	0.9	1.9	2.8
政府支出	2.0	0.5	1.1
政府最終消費支出	2.3	0.4	1.0
公的固定資本形成	0.1	0.5	1.3
内需寄与度	0.9	1.1	1.5
外需寄与度	▲0.4	▲0.1	▲0.2
名目GDP	3.7	4.2	3.4
国民所得	2.4	5.7	3.9
雇用者報酬	4.1	3.8	3.7
財産所得	13.8	15.8	5.4
企業所得	▲5.8	7.7	4.0
消費者物価(総合)	3.0	2.6	1.9
完全失業率	2.5	2.5	2.4

経済成長の内訳



② 将来人口の推計

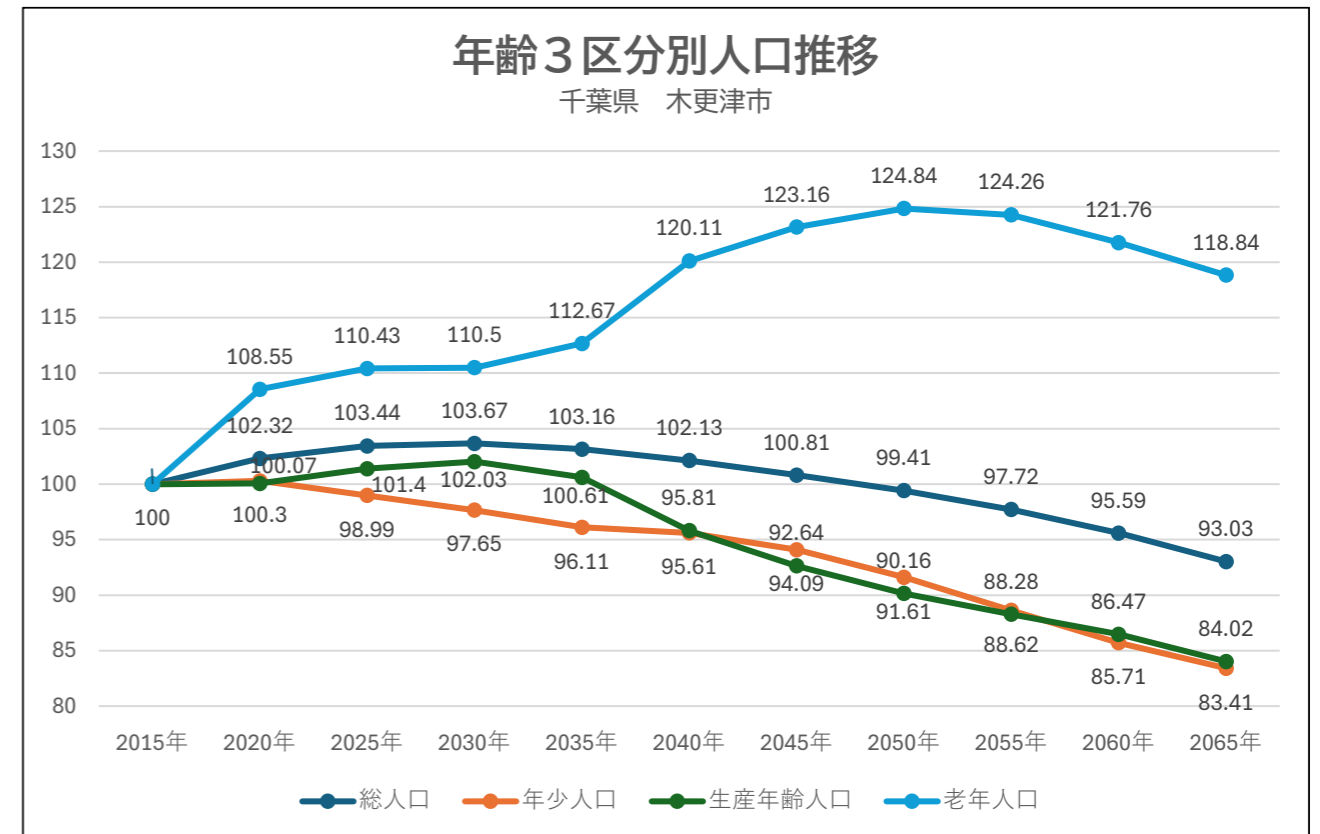


【出典】
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」に基づき、まち・ひと・しごと創生本部事務局作成

【注記（推計方法等）】
 <総人口推計>
 ● パターン 1：全国の移動率について、足元の傾向が続くと仮定した推計（社人研推計準拠）
 ● シミュレーション 1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の 2.1）まで上昇したとした場合のシミュレーション
 ● シミュレーション 2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の 2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。

<老年人口比率推移>
 ● パターン 1：全国の移動率について、足元の傾向が続くと仮定した推計（社人研推計準拠）
 ● シミュレーション 1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の 2.1）まで上昇したとした場合のシミュレーション
 ● シミュレーション 2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の 2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした（移動がゼロとなった）場合のシミュレーション。

<年齢 3 区分別人口推移>
 2015 年の人口を 100 とし、各年の人口を指数化している。



③ SWOT分析の実施

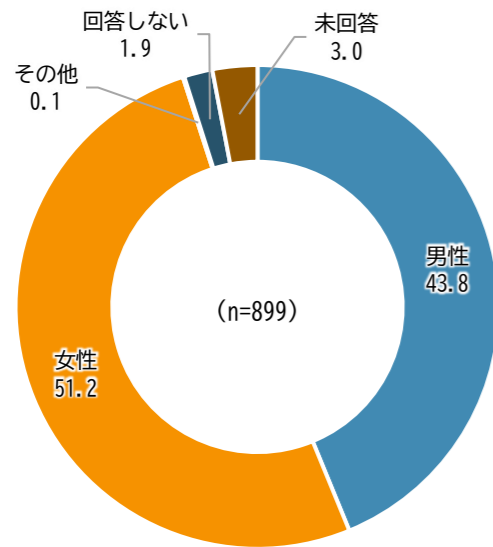
	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 超広域・多モードのアクセシビリティ: アクアライン、館山道、圏央道の結節点に加え、羽田空港から30分という「世界の玄関口」に近い圧倒的立地。NEXCO東日本の交通網を背景にした強固な物流・集客基盤。 ● 先進的な地域通貨インフラ: アクアコインによる域内経済循環の仕組みが確立。データに基づいた地域経済分析が可能。 ● 独自のブランド戦略: 「オーガニックシティ」という旗印のもと、ポルシェ・エクスペリエンスセンターのような高付加価値施設を誘致できる「選ばれる郊外」としてのブランド力。 <ul style="list-style-type: none"> ● 抜群の広域交通アクセス: 東京湾アクアラインや館山自動車道、圏央道により、都心や羽田空港、神奈川県方面へのアクセスが非常に良好。 ● 大型商業施設の集積: 三井アウトレットパーク木更津やイオンモール木更津など、広域から集客できる商業基盤が整っている。 ● 独自のまちづくりブランド: 「オーガニックなまちづくり」を掲げ、SDGs未来都市として持続可能な地域運営を推進している。 ● 人口動態の堅調さ: 千葉県内でも珍しく、子育て世代の転入などにより人口増加（社会増）が続いてきた。 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市機能の二極化: 活況な金田地区等に対し、木更津駅周辺の空洞化が止まらず、新旧市街地でインフラ維持や活気の格差が生じている。 ● 「立ち寄り型」消費の限界: アウトレット等への来客数は膨大だが、滞在時間が短く、市内他地域への回遊・宿泊に繋がりにくい構造。 ● 維持コストの増大: 開発エリアが分散しているため、上下水道や道路などの維持管理費が効率化しにくい財政構造。 <ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地の空洞化: 郊外の大型店進出に伴い、木更津駅周辺の商業機能や活気が低下している。 ● 公共交通の脆弱性: 内陸部を中心に、自家用車がないと移動が困難な地域があり、公共交通網の維持が課題である。 ● インフラの老朽化: 水道や橋梁などの公共施設の老朽化が進んでおり、更新のための財政負担が懸念されている。
<p>機会 (Opportunities)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素・グリーン化の先導: 臨海部の重工業地帯をカーボンニュートラルポートとして再定義し、水素エネルギーや環境産業の拠点化を狙えるチャンス。 ● 体験型・富裕層観光の開拓: 単なる買い物ではなく、自然やラグジュアリー体験を組み合わせた「高単価な着地型観光」へのシフト。 ● サテライトオフィス・二拠点居住: 都心から1時間圏内の「田園都市」として、テレワーク層を本格的に取り込める社会的土壌。 <ul style="list-style-type: none"> ● 移住・定住ニーズの拡大: テレワークの普及や地方創生の動きにより、都心に近い「田園環境」を求める層の受け皿になる可能性がある。 ● インバウンド需要: 羽田・成田両空港への近さを活かした、訪日外国人観光客の取り込みが期待されている。 ● 先端技術の導入: 自動運転やドローン、スマート農業などの導入による地域課題解決の余地がある。 	<p>【積極的攻勢：強みを活かして機会を最大化する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CNP×物流の先進拠点化: アクセスを活かし、次世代エネルギーのカーボンニュートラルポート化を進め、外資・先端企業を誘致する。 ● サステナブル・ツーリズムの確立: オーガニックブランドと富裕層需要を掛け合わせ、クルックフィールズのような滞在型体験施設を横展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電子地域通貨「アクアコイン」: 君津信用組合らと連携した国内トップクラスの普及率を誇る電子通貨で、経済の域内循環を可視化している。 ● ポルシェ・エクスペリエンスセンター等の誘致: ポルシェ・ジャパンのような富裕層や体験型施設を誘致することで、従来の「安い・近い」だけの郊外イメージを塗り替えようとしている。 	<p>【弱点克服：機会を捉え弱みを改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺の「職住一体」リノベ: テレワーク需要を駅前に誘導。リノベーションまちづくりにより、既存ストックを活用してインフラコストを抑制する。 ● 回遊・滞留パッケージの構築: 通過される現状に対し、アウトレット客を市街地の体験スポットへデジタル誘導し、滞在時間を延ばす。 <ul style="list-style-type: none"> ● 住みやすさの代償: 移住者が増えたことで金田地区などの地価が上昇しており、若い世代が家を建てにくい環境が一部で生まれている。 ● 面的拡大の限界: 開発エリア（金田等）が分散しているため、市全体の上下水道や道路維持のコストが分散し、効率が悪くなっているという財政的リスクを抱えている。
<p>脅威 (Threats)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アクアライン依存のリスク: 交通料金政策や大規模災害による寸断が、市民生活と地域経済（物流・観光）に致命的な影響を及ぼす脆弱性。 ● 若年層の流出・地価上昇: 人気が高まるエリアの地価高騰により、本来定住してほしい子育て世代が近隣の袖ヶ浦市や君津市へ流出する皮肉な現象。 ● 産業構造の急変: 基幹産業である日本製鉄などの製造業が、国際的な脱炭素シフトの影響を強く受け、税収や雇用に影響を及ぼす懸念。 <ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化の加速: 将来的には人口減少局面に入ると予測されており、社会保障費の増大が財政を圧迫するリスクがある。 ● 都市間競争の激化: 周辺の流山市や印西市など、住みよさランキング上位の自治体との定住人口獲得競争が続いている。 ● 産業の後継者不足: 農業や漁業などの一次産業における担い手不足が深刻化している。 	<p>【差別化戦略：強みで脅威を跳ね返す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「選ばれる郊外」の独自性強化: 子育て支援競争に対し、有機米給食やアクアコインによる住民還元など「木更津にしかない価値」で差別化する。 ● 自立型経済圏の構築: アクアライン寸断に備え、域内通貨を活用した地産地消経済を強化し、外部依存度を下げる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 製造業の再編: 臨海部の日本製鉄などの重工業は依然として強力な税収源であるが、カーボンニュートラルの流れの中で産業構造の変革を迫られている。これに対し、物流拠点としての機能強化や、環境関連産業の育成が急務となっている。 	<p>【防衛・撤退：弱みと脅威の最悪を避ける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市機能のコンパクト化: 担い手不足と維持コスト増に対抗するため、居住誘導区域への集約を加速させ、財政の健全性を守る。 ● 産業のハイブリッド化: 衰退懸念のある既存産業に、CNP技術を導入し、既存の雇用を守りつつ次世代型ヘルソフトランディングさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ● ストロー現象の懸念: 東京湾アクアラインの通行料金引き下げにより、都心へのアクセスは劇的に向上したが、これは「買い物客が木更津に来る」だけでなく「木更津の住民が都内へ買い物やレジャーに流出する」という双方向の影響を与えている。 ● 通過型観光からの脱却: アウトレット等への来客は多いものの、多くが「買い物をしたら帰る」という日帰り客である。これを市内の宿泊施設や飲食店へ回遊させる観光の着地型化が最大の経営課題となっている。

(2) 市民アンケート結果・タウンミーティング結果報告

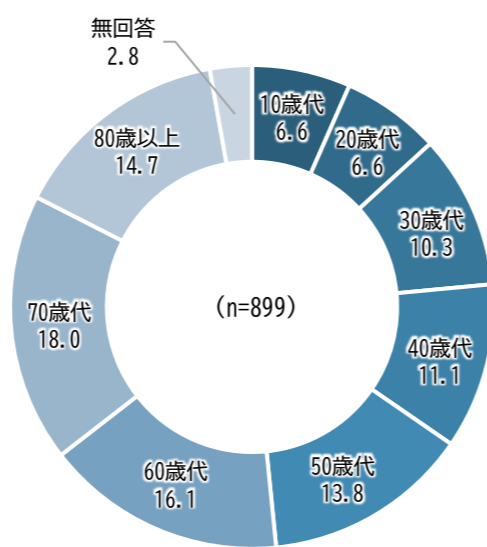
①市民アンケート結果報告

1) 回答者の属性

性別 年齢

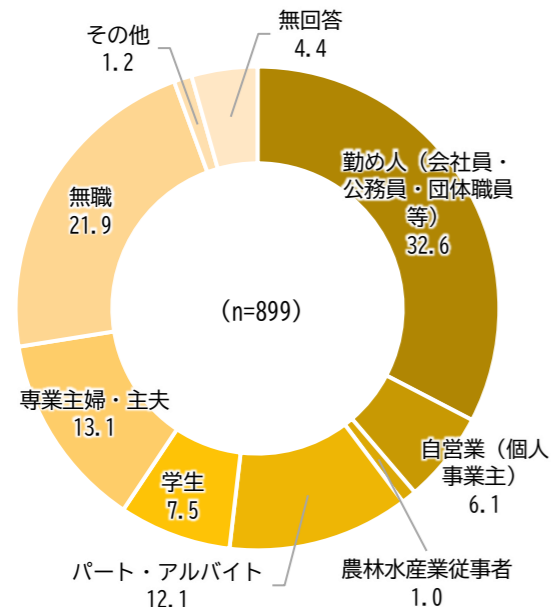


性別は、男性が43.8%、女性が51.2%となっている。

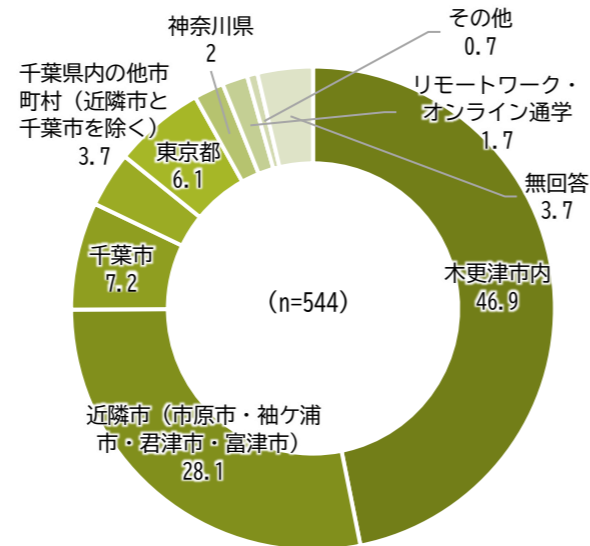


年齢は、70歳代が18.0%と最も高く、次いで60歳代が16.1%、80歳以上が14.7%、50歳代が13.8%の順となっている。

職業 通勤・通学先

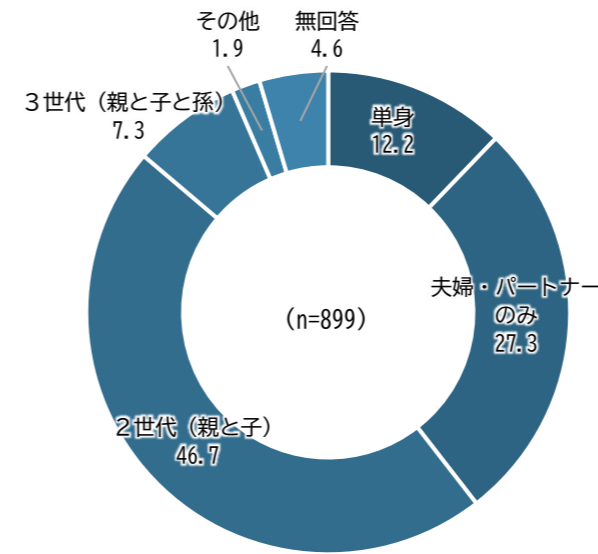


職業は、勤め人が32.6%で最も高く、次いで、無職が21.9%、専業主婦・主夫が13.1%、パート・アルバイトが12.1%の順となっている。



職業で専業主婦・主婦または無職以外を回答した方の通勤・通学先は、木更津市内が46.9%で最も高く、次いで近隣市(市原市・袖ヶ浦市・君津市・富津市)が28.1%、千葉市が7.2%となっている。

家族構成

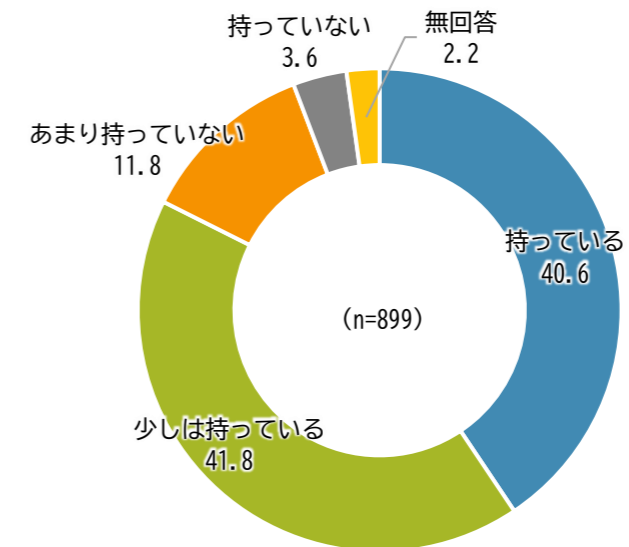


家族構成は、2世代(親と子)が46.7%で最も高く、次いで夫婦・パートナーのみが27.3%、単身が12.2%、3世代(親と子と孫)が7.3%の順となっている。

2) 木更津市のイメージについて

■木更津市への愛着や誇り

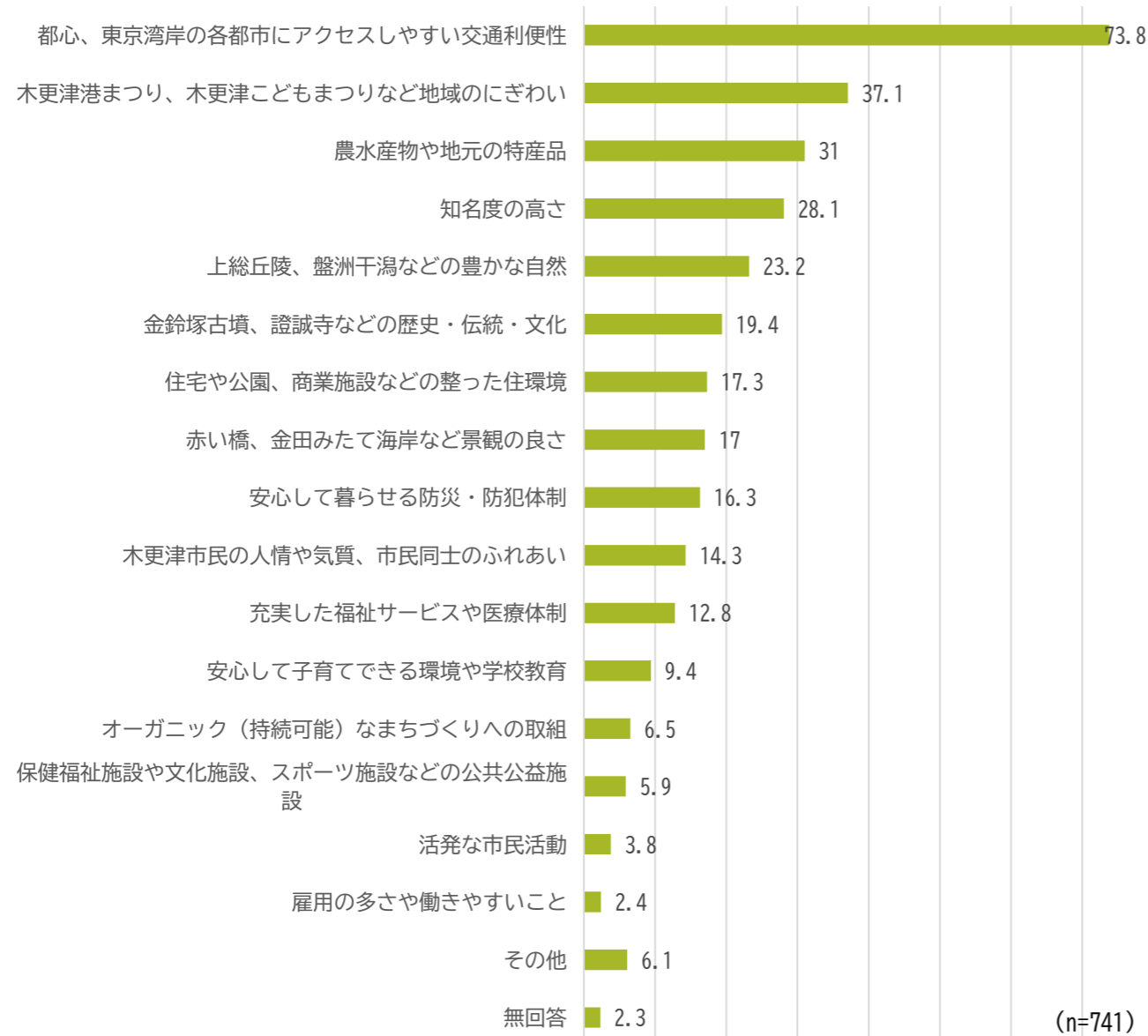
問1. あなたは、木更津市に対して愛着や誇りを持っていますか。(✓は1つだけ)



木更津市の愛着や誇りについては、「持っている」(40.6%)と「少しは持っている」(41.8%)を合わせた『持っている(計)』が82.4%と高くなっている。「あまり持っていない」(11.8%)と「持っていない」(3.6%)を合わせた『持っていない(計)』は15.4%となっている。

■木更津市の愛着や誇りを感じるもの

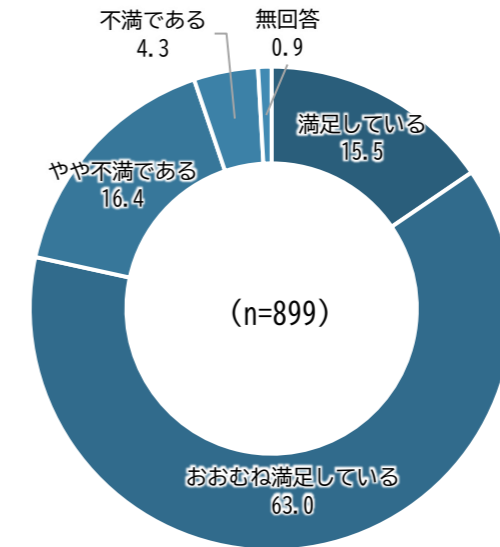
問1-2. あなたが持っている木更津市への愛着や誇りは何ですか
(当てはまるものすべてに✓)



木更津市の愛着や誇りを感じるものについては、「都心、東京湾岸の各都市にアクセスしやすい交通利便性」が73.8%と最も高く、次いで「木更津港まつり、木更津子どもまつりなど地域のにぎわい」(37.1%)、「農水産物や地元の特産品」(31.0%)、「知名度の高さ」(28.1%)、「上総丘陵、盤洲干潟などの豊かな自然」(23.2%)の順となっている。

■木更津市の住みごこち

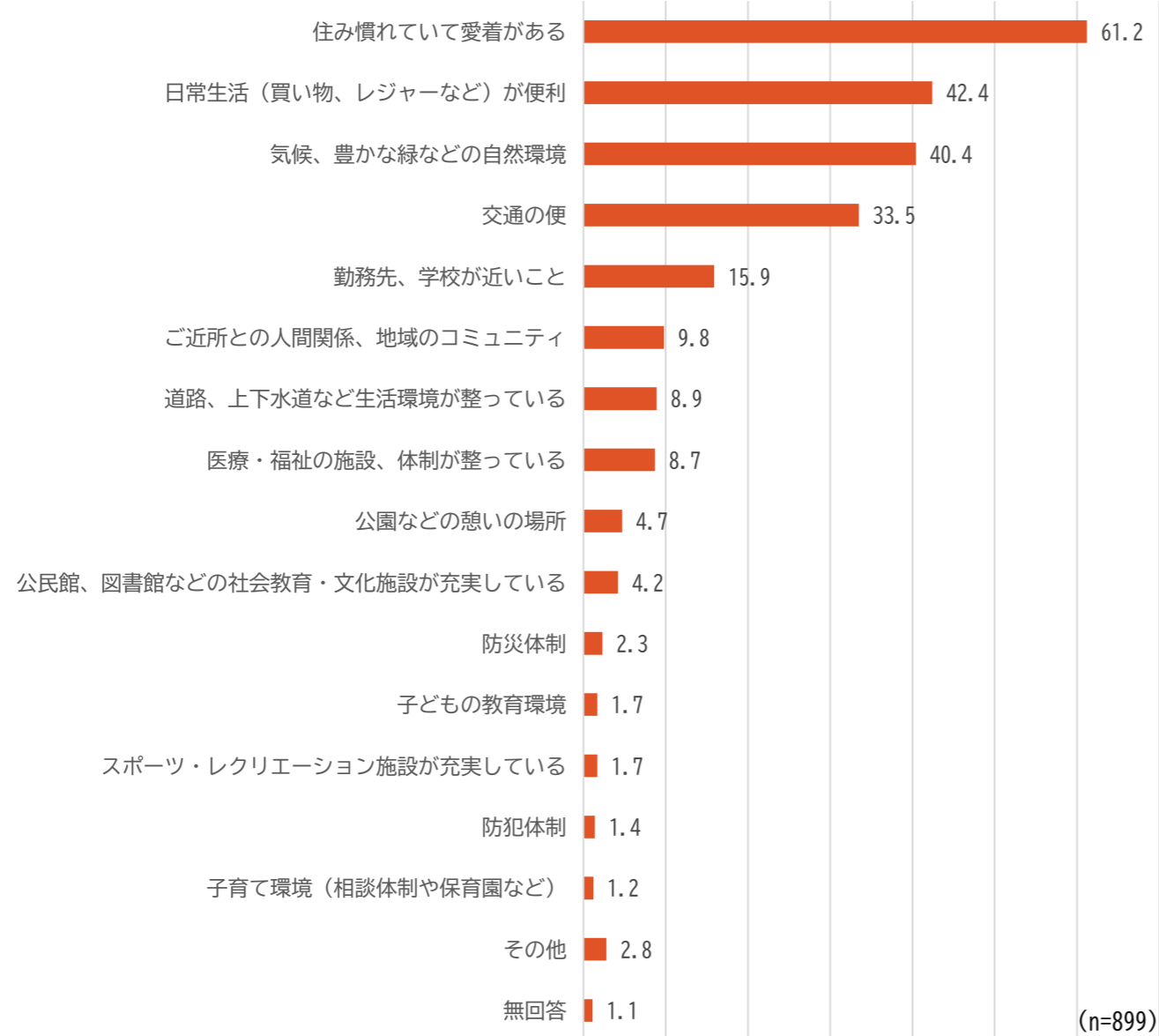
問2. あなたにとって、現在の木更津市の住みごこちはいかがですか。(✓は1つだけ)



木更津市の住みごこちについては、「満足している」(15.5%)と「おおむね満足している」(63.0%)を合わせた『満足している(計)』が78.5%と高くなっている。「やや不満である」(16.4%)と「不満である」(4.3%)を合わせた『不満である(計)』は20.7%となっている。

■住んでいて良いところ

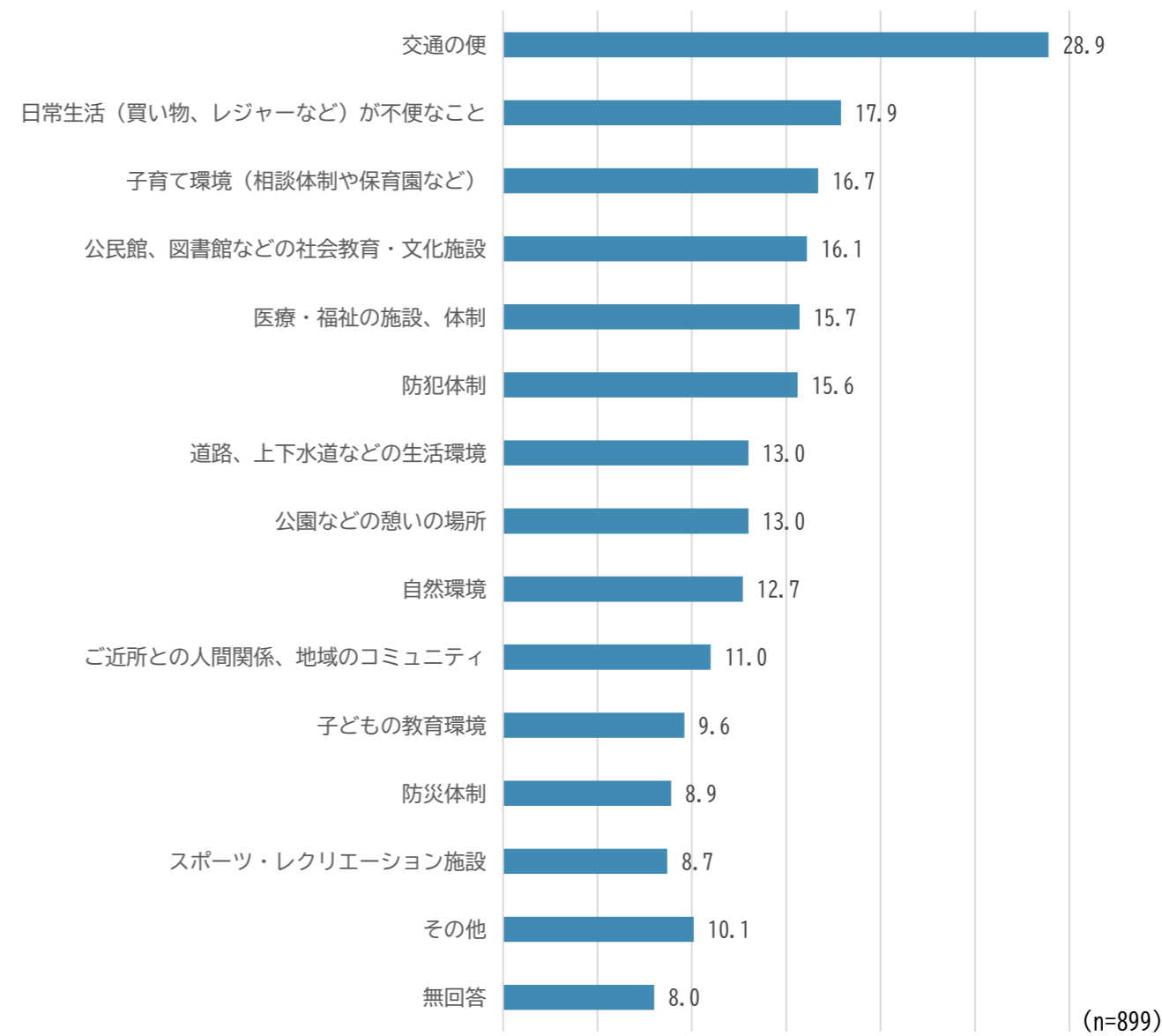
問3. あなたが木更津市に住んでいて、良いと思うことは何ですか。(✓は3つまで)



木更津市に住んでいて良いと思うことについては、「住み慣れていて愛着がある」が61.2%で最も高く、次いで「日常生活（買い物、レジャーなど）が便利」（42.4%）、「気候、豊かな緑などの自然環境」（40.4%）、「交通の便」（33.5%）、「勤務先、学校が近いこと」（15.9%）の順となっている。

■住んでいて良くないところ

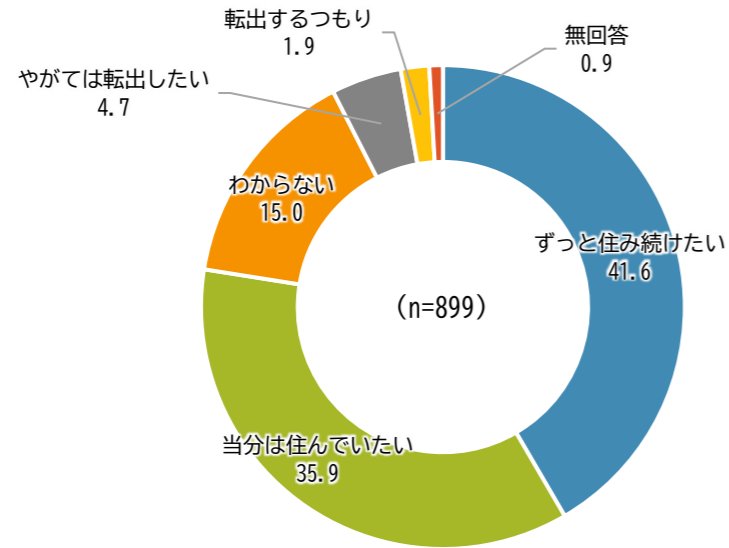
問4. あなたが木更津市に住んでいて、良くないと思うことは何ですか。(✓は3つまで)



木更津市に住んでいて良くないと思うことについては、「交通の便」が28.9%で最も高く、次いで「日常生活（買い物、レジャーなど）が不便なこと」（17.9%）、「子育て環境（相談体制や保育園など）」（16.7%）、「公民館、図書館などの社会教育施設・文化施設」（16.1%）、「医療・福祉の施設、体制」（15.7%）の順となっている。

■定住意向

問5. あなたはこれからも木更津市に住みたいと考えていますか。(✓は1つだけ)



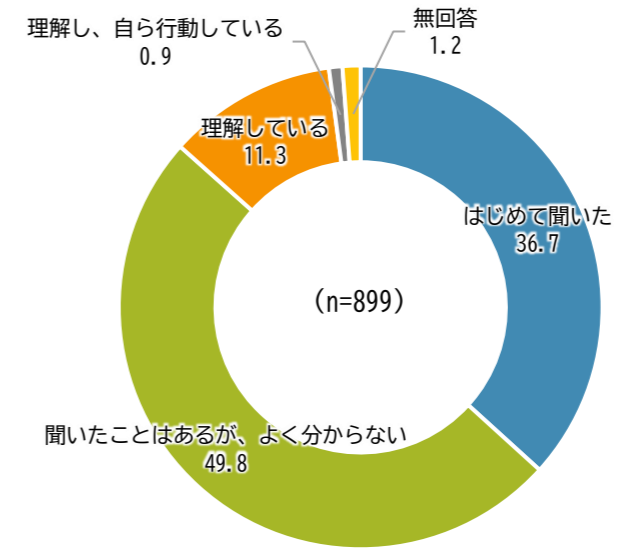
定住意向については、「ずっと住み続けたい」(41.6%)と「当分は住んでいたい」(35.9%)を合わせた『定住意向(計)』が77.5%と高くなっている。「やがては転出したい」(4.7%)と「転出するつもり」(1.9%)を合わせた『転出意向(計)』は6.6%となっている。

■木更津市の取り組みについて

「オーガニックなまちづくり」の認知度

問6. 木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。この取組について、あなたはどのくらい知っていますか。(✓は1つだけ)

(オーガニックなまちづくりとは?)
このまちに住む人が、それぞれの役割を果たしながら、互いにつながり支え合って、人と自然が調和した持続可能なまちをつくらうとする取組のことです



「オーガニックなまちづくり」の認知度については、「理解し、自ら行動している」が0.9%、「理解している」が11.3%となっている。「聞いたことはあるが、よく分からない」は49.8%で、「はじめて聞いた」は36.7%となっている。

■行政サービスに関する現在の満足度と今後の優先度

問15. あなたは、木更津市の行政サービスに対して、どのくらい満足していますか。

また、今後どのくらい優先的に取り組んでほしいと思いますか。

以下の1～48の各項目について、「現在の満足度」と「今後の優先度」を選んでください。(✓は1つずつ)

木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度については、「5」と「4」を合わせた『高い(計)』は「1 保健の充実」が38.5%で最も高く、次いで「2 医療の充実」(34.7%)、「37 資源循環の推進」(29.0%)、「7 消防・救急救助体制の充実」(27.6%)、「35 上水道の充実」(27.6%)、「15 スポーツ・レクリエーションの充実」(27.5%)の順となっている。

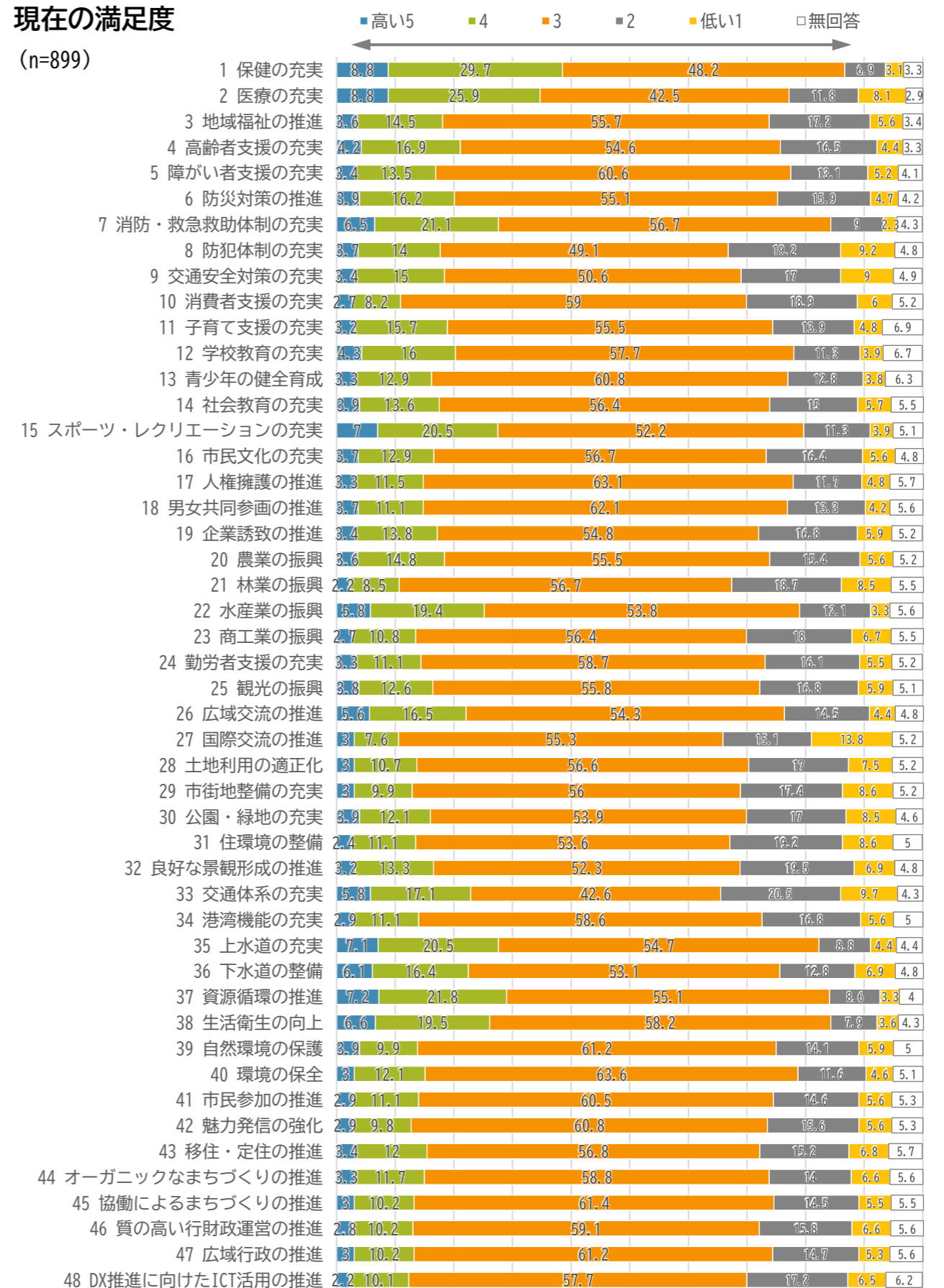
一方、「2」と「1」を合わせた『低い(計)』は「33 交通体系の充実」が30.2%で最も高く、次いで「27 国際交流の推進」(28.9%)、「8 防犯体制の充実」(28.4%)、「31 住環境の整備」(27.8%)、「21 林業の振興」(27.2%)、「32 良好な景観形成の推進」(26.4%)の順となっている。

木更津市の行政サービス48項目に関する今後の優先度については、「5」と「4」を合わせた『高い(計)』は「2 医療の充実」が76.3%と最も高く、次いで「6 防災対策の推進」(72.7%)、「8 防犯体制の充実」(70.6%)、「33 交通体系の充実」(70.3%)、「7 消防・救急救助体制の充実」(65.7%)、「1 保健の充実」(63.8%)の順となっている。

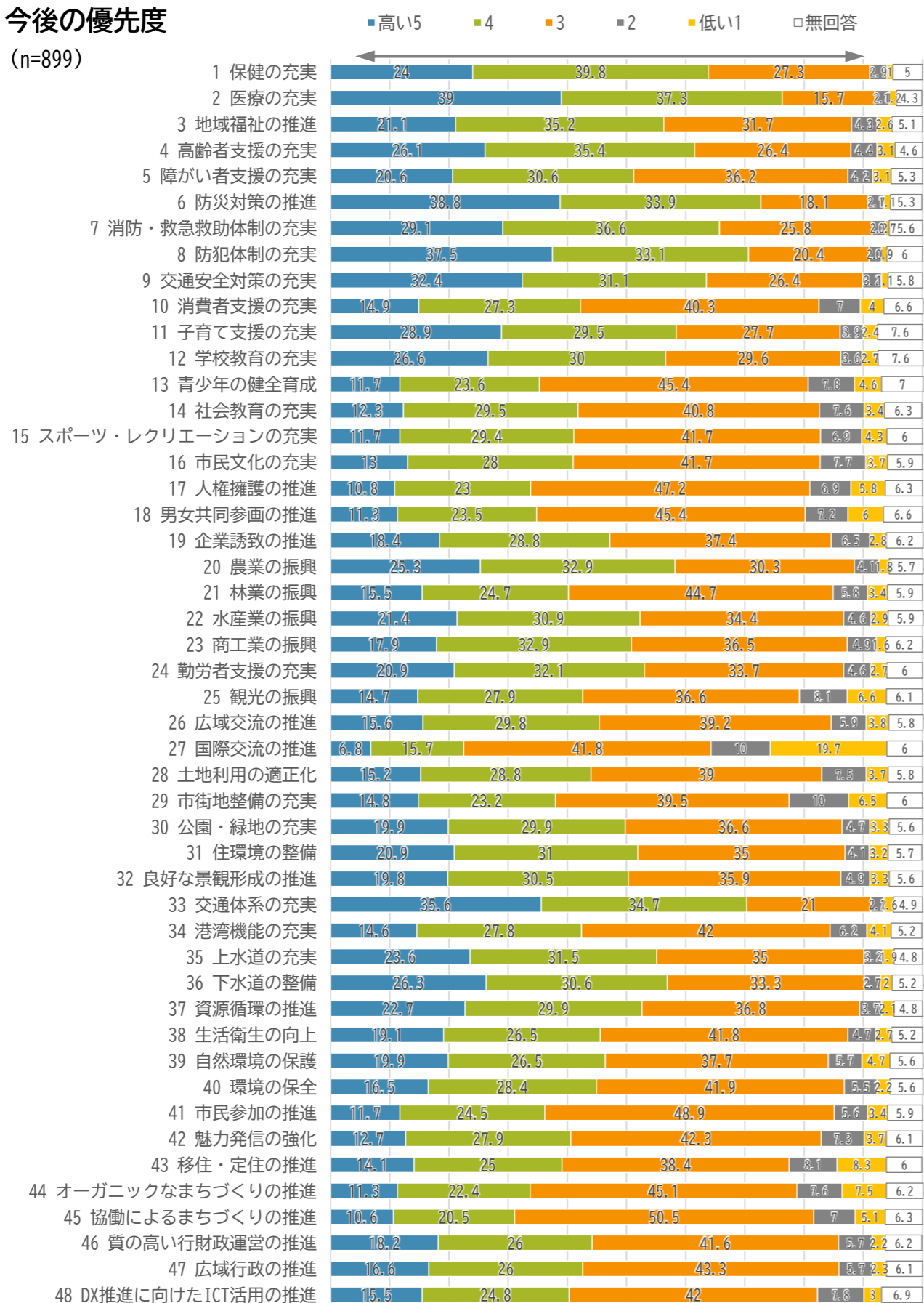
一方、「2」と「1」を合わせた『低い(計)』は「27 国際交流の推進」が29.7%で最も高く、2割台となっている。次いで「29 市街地整備の充実」(16.5%)、「43 移住・定住の推進」(16.4%)、「44 オーガニックなまちづくりの推進」(15.1%)、「25 観光の振興」(14.7%)、「18 男女共同参画の推進」など、17項目が1割台となっており、それ以外の30項目は1割未満となっている。

現在の満足度

(n=899)



今後の優先度 (n=899)



■現在の満足度と今後の優先度の加重平均による分析

木更津市の行政サービス 48 項目に関する現在の満足度と今後の優先度について、11～12 ページに示したように 5 段階の評価を得たが、その結果を相対的に比較しやすくするため、それぞれの回答に得点としての重みを与え、その平均値を「加重平均値」として計算し、行政サービス間の順位を明らかにした。以下に「加重平均値」の計算方法を示す。

まず、それぞれの回答に以下のような得点を与えた。

現在の満足度では

「高い 5」を+2点、「4」を+1点、「3」を0点、「2」を-1点、「低い 1」を-2点

今後の優先度では

「高い 5」を+2点、「4」を+1点、「3」を0点、「2」を-1点、「低い 1」を-2点

次に、以下の計算式により現在の満足度、今後の優先度の加重平均値を求めた。

$$\text{現在の満足度加重平均値} = \frac{\text{「5」の回答者数} \times 2 + \text{「4」の回答者数} \times 1 + \text{「3」の回答者数} \times 0 + \text{「2」の回答者数} \times (-1) + \text{「1」の回答者数} \times (-2)}{n - (\text{無回答者数})}$$

$$\text{今後の優先度加重平均値} = \frac{\text{「5」の回答者数} \times 2 + \text{「4」の回答者数} \times 1 + \text{「3」の回答者数} \times 0 + \text{「2」の回答者数} \times (-1) + \text{「1」の回答者数} \times (-2)}{n - (\text{無回答者数})}$$

加重平均値は最大値が+2、最小値が-2となり、+2に近づくほど現在の満足度、今後の優先度が高いことを示し、-2に近づくほど現在の満足度、今後の優先度が低いことを示す。

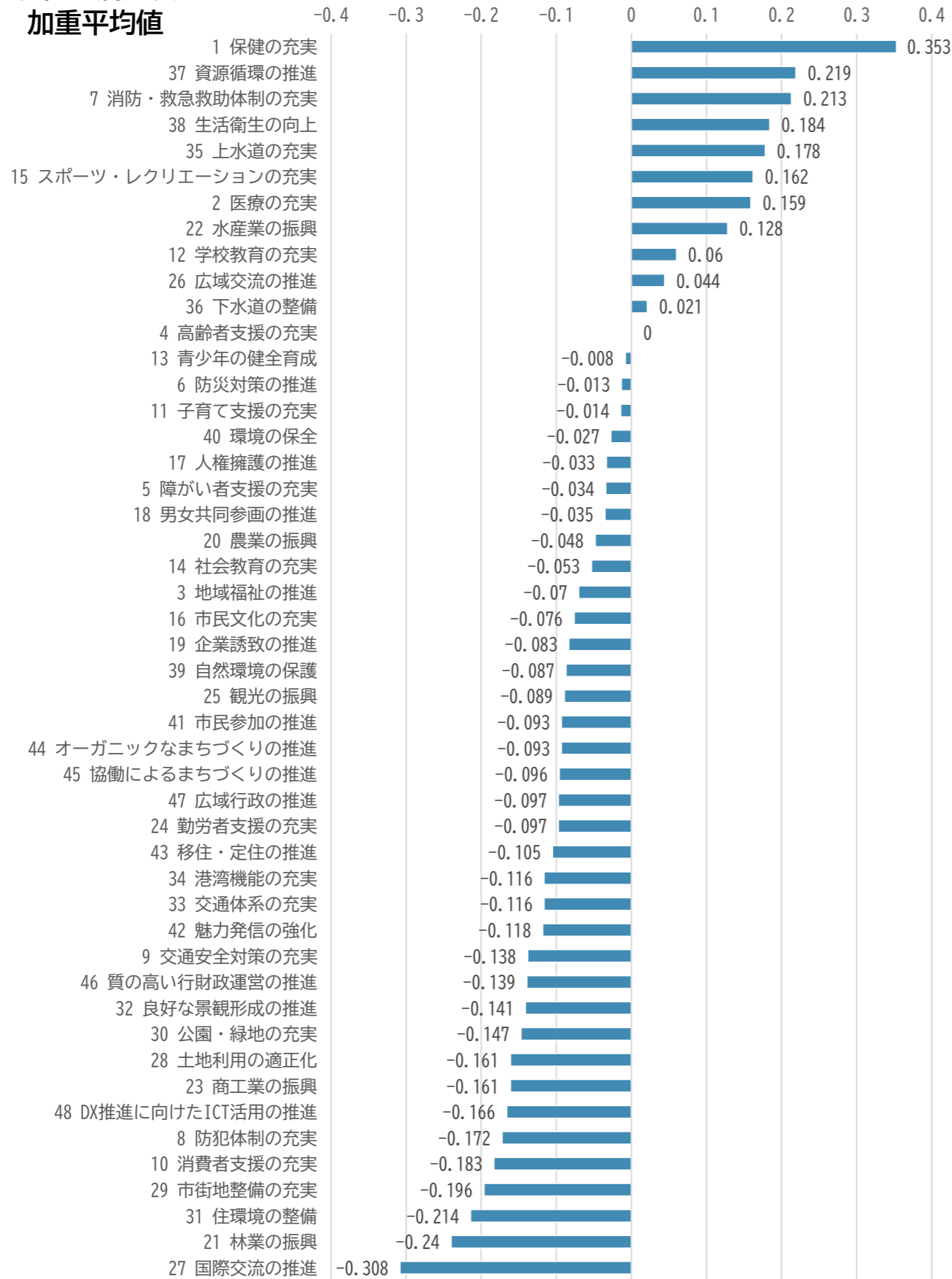
現在の満足度の加重平均値は、「1 保健の充実」が 0.353 で最も高く、次いで「37 資源循環の推進」(0.219)、「7 消防・救急救助体制の充実」(0.213)、「38 生活衛生の向上」(0.184)、「35 上水道の充実」(0.178) の順となっている。

一方、「27 国際交流の推進」が-0.308 で最も低く、次いで「21 林業の振興」(-0.240)、「31 住環境の整備」(-0.214)、「29 市街地整備の充実」(-0.196)、「10 消費者支援の充実」(-0.183)、「8 防犯体制の充実」(-0.172) の順となっている。

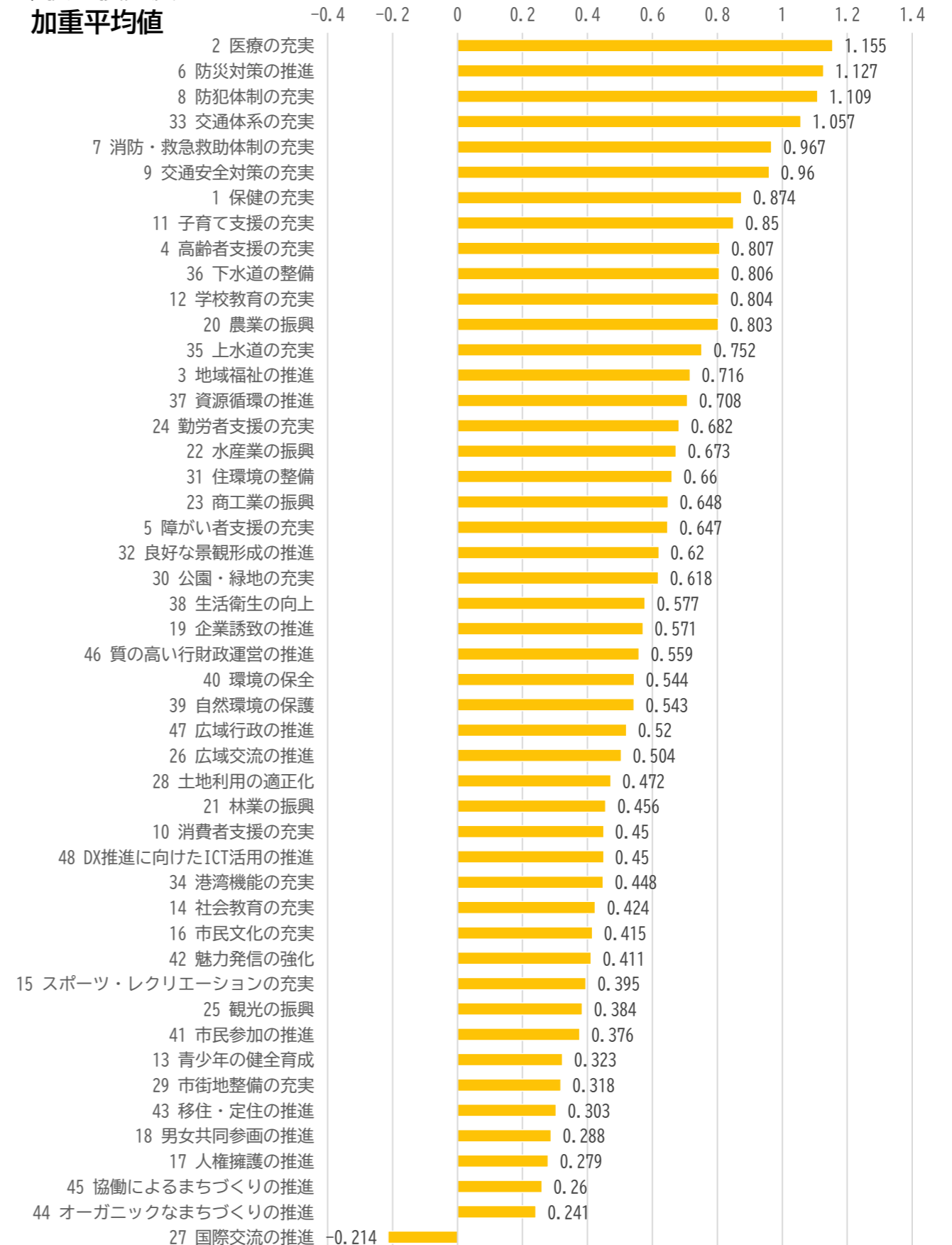
今後の優先度の加重平均値は、「2 医療の充実」が 1.155 で最も高く、次いで「6 防災対策の推進」(1.127)、「8 防犯体制の充実」(1.109)、「33 交通体系の充実」(1.057)、「7 消防・救急救助体制の充実」(0.967) の順となっている。

一方、「27 国際交流の推進」が-0.214 で最も低く、次いで「44 オーガニックなまちづくりの推進」(0.241)、「45 協働によるまちづくりの推進」(0.260)、「17 人権擁護の推進」(0.279)、「男女共同参画の推進」(0.288) の順となっている。

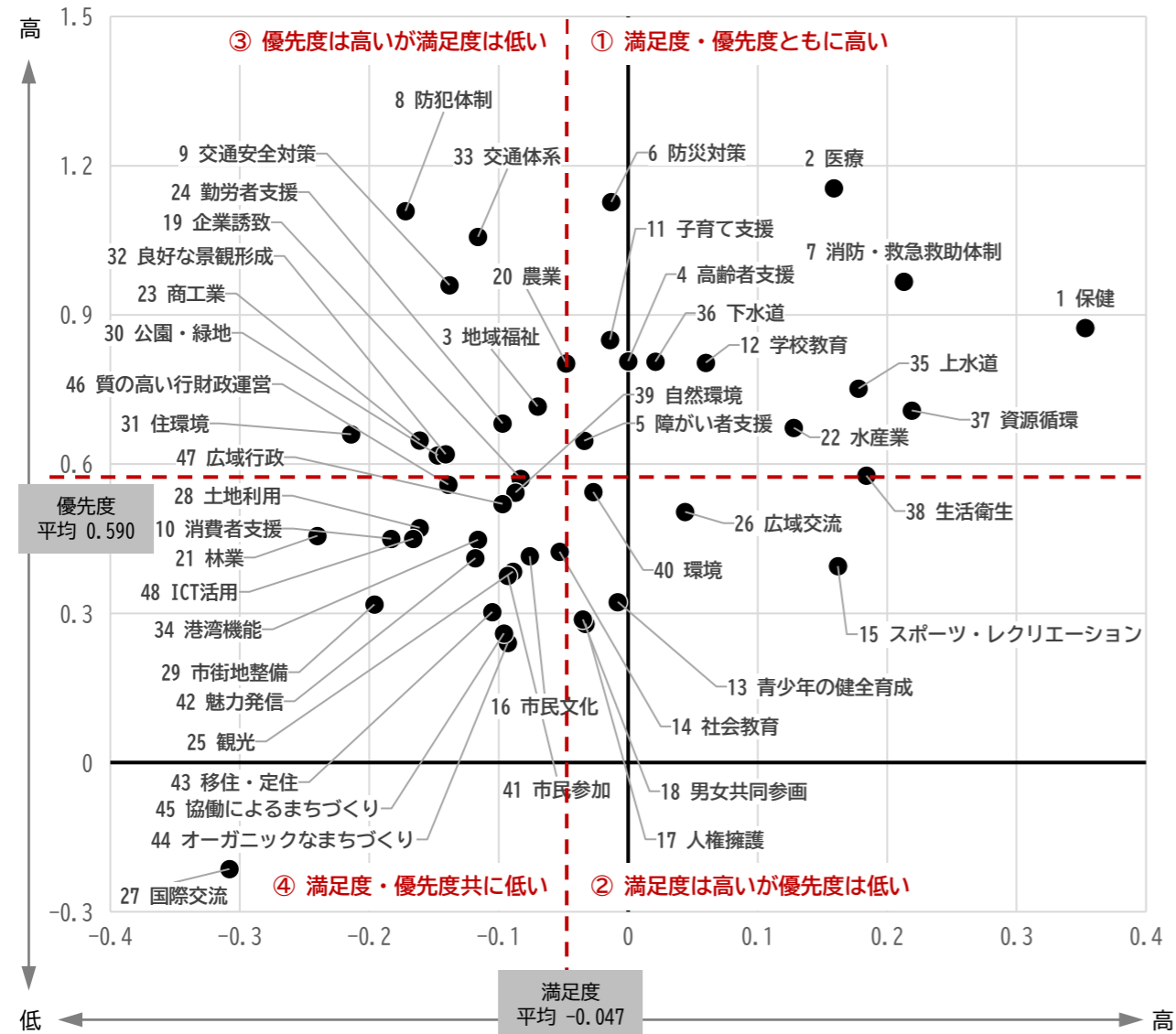
現在の満足度
加重平均値



今後の優先度
加重平均値



現在の満足度と今後の優先度



木更津市の行政サービス 48 項目に関する現在の満足度と今後の優先度の加重平均値を、現在の満足度を横方向・今後の優先度を縦方向とし、相関関係を示した。

現在の満足度の加重平均値 48 項目の平均 (-0.047) より高い項目を「満足度が高い」、低い項目を「満足度が低い」とした。また、今後の優先度の加重平均値 48 項目の平均 (0.590) より高い項目を「優先度が高い」、低い項目を「優先度が低い」とし、これらを組み合わせて、以下の①～④に分類した。

- | | |
|-----------------------|------|
| ① 満足度・優先度ともに高い行政サービス | 12項目 |
| ② 満足度は高いが優先度は低い行政サービス | 7項目 |
| ③ 優先度は高いが満足度は低い行政サービス | 10項目 |
| ④ 満足度・優先度ともに低い行政サービス | 19項目 |

③の中でも「8 防犯体制の充実」、「33 交通体系の充実」、「9 交通安全対策の充実」の3項目は特に今後の優先度が高くなっていることから、重要施策になると考えられる。

②タウンミーティングの結果報告

<実施概要>

■タウンミーティングの目的

- 今回のタウンミーティングは、木更津市基本構想の将来都市像「魅力あふれる創造都市きさらづ〜東京湾岸の人とまちを結ぶ躍動するまち〜」の実現に向け、第3次基本計画に基づき、諸施策を推進してきた。令和8年度で計画期間が満了することから、引き続き、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するとともに、市制施行100周年を見据え、誰もが住みやすいまちを目指し、新たな時代にふさわしいまちづくりビジョンとなるよう、第4次基本計画の策定を行うところである。またこれは、第4次基本計画に位置付ける施策の実現に向けて、財政計画と連動した事業計画である実施計画の策定となるものである。
- 基本計画の策定は、市民の意見を反映することも重要なことから、アンケートや市民参加型合意形成プラットフォームは継続的に実施するとともに、各地域ごと及びその連携などを考慮した意見集約は実施していない。
- そこで今回は、将来のありたい姿、各地区ごとの課題や要望などの意見の他、他地域との連携、分野連携などに着目したタウンミーティングを行うこととした。

■タウンミーティングの流れ

- タウンミーティングは、以下の流れで実施した。
- タウンミーティングのタイムスケジュールは以下の通りとした。
- 全会場でおおむね時間通りに会議が実施された。

【タイムスケジュール（全体2時間）】

0:00-0:10	会場準備、資料配布
0:10-0:12	挨拶
0:12-0:20	趣旨説明、資料説明（梶原）、会議開始
0:20-0:25	参加者内での役割分担
0:25-1:25	意見交換、ワークシートとりまとめ
1:25-1:45	発表（グループ数に応じて1グループの発表時間を調整）
1:45-1:50	全体ファシ総括
1:50-2:00	挨拶、片付け

■意見交換でまとめていただいた内容

- 各地区ごとの課題や要望などの意見を出し合い、ワークシートにまとめていただいた。
- その際、少なくとも一つは、他地域との連携や分野連携に着目した事柄をまとめていただくことを依頼した。

■使用したワークシート

- 使用したワークシートは2種類
- 場所が不明確であるが、将来このような街にしたいというような意見は表型のワークシートへ、具体的な場所に対してどのようにしたいというような意見は地図型のワークシートにまとめていただいた。

	表型のワークシート	地図型のワークシート
テーマ	6つの基本方向から選択	
着目点	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全で生き生きとした暮らしづくり まちの賑わい・活かす・まちを変える人づくり まちの快適・暮らし空間づくり・構想の実現に向けて 	
ヒト：市民生活に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> 例) 安心した生活に対する効率的な社会へ 医療・福祉の現場に地産地消の食材を提供及び人材の確保育成 	<ul style="list-style-type: none"> 例) 木更津市のイメージアップと観光客へのサービス向上 観光振興や特産品開発などによる観光客への満足度を向上（学校との連携等）
モノ：まちの形成に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> 例) 災害時も安心できる社会へ 防災拠点への太陽光発電などの設置による安心した避難生活を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 例) 定期的な地域連携による産業が継続して発展する社会へ 他地域や異業種間の連携を促進（枠組みの形成）
カネ：事業予算（補助・助成等）に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> 例) 自然に優しい社会へ 地域共有施設等への再生可能エネルギー設備への補助の強化補助 	<ul style="list-style-type: none"> 例) 国・県と連携し、新規開発に対する補助金確保と、企業への支援 国の支援を上手に活用したまちづくり 国・文部省や、環境省、総務省などが定める補助金などを上手に活用
その他：上記以外の事項	<ul style="list-style-type: none"> 例) 課題を共有し安心できる場のある社会へ 医療、福祉、子育てなど様々な課題を共有し、情報交換できる場を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 例) 久留里線駅舎やバス停などを拠点とした憩いの場の提供と他地域への発信 映画やCMに使われる場所などを創出 観光を契機にした定住促進が継続される社会へ 市民農園⇒滞在型市民農園化⇒優良田園住宅といった施策の流れを形成



■話し合いのルールの設定と参加者への役割分担の設定を行う方式の採用

<話し合いのルールと役割分担>

話し合いのルール
①会議の目的は結論を出すことです。何か決めて終わるようにし、後戻りしないでください。
②出てきたアイデアが実現可能かどうかは考えないでください。
③他地域との連携、分野連携も意識してください。 (必ず一項目はまとめてください。)
④相手のアイデアを否定しないで、ほめてください。 (どちらのアイデアを併記)
⑤全員のみなさんが発言できるようにご配慮ください。
⑥人の意見を聞いて、自分の意見を変えてもかまいません。

役割分担
①進行役：司会進行
②まとめ役：ワークシートに意見をまとめていく係
③タイムキーパー：会議の時間管理
④発表者：取りまとめたワークシートの発表
⑤調整役：参加者にルールの徹底を促す。必要な場合、行政支援者、コンサルタントを呼ぶ。

<実施日程>

- タウンミーティング実施は下表の通り。
- 14地区まちづくり協議会に協力いただき、計7日間・8会場において、延べ143人の参加

協議会名	開催場所	開催日時		住民参加者数	地区担当職員参加者数	参加者合計
		開催日	開催時間			
富来田地区まちづくり協議会	富来田公民館 研修室1・2	令和8年1月25日	13:30～15:30	21人	2人	23人
岩根西地区まちづくり協議会	岩根西公民館 集会室	2月1日	9:00～11:00	12人	2人	24人
岩根東地区まちづくり協議会				8人	2人	
金田地区まちづくり協議会	金田地域交流センター 会議室3	2月1日	13:30～15:30	12人	2人	14人
鎌足地区まちづくり協議会	鎌足公民館 研修室	2月6日	19:00～21:00	12人	2人	14人
中央地区まちづくり協議会	中央公民館 第2会議室	2月7日	13:30～15:30	3人	2人	12人
請西・真舟小地区まちづくり協議会				5人	2人	
中郷地区まちづくり協議会	中郷公民館 研修室	2月10日	19:00～21:00	21人	2人	23人
八幡台小学校区まちづくり協議会	波岡公民館 第1・2学習室	2月28日	13:30～15:30	5人	1人	17人
波岡西地区まちづくり協議会				5人	1人	
波岡公民館地区まちづくり協議会				4人	1人	
西清川まちづくり協議会	清見台公民館 第1研修室	3月8日	9:00～11:00	4人	1人	16人
清見台・太田地区まちづくり協議会				5人	1人	
東清川地区まちづくり協議会				4人	1人	

※二小地区まちづくり協議会については、令和8年2月設立のため未開催

<各地区の意見概要（実施順）> ※原則的に市民の方からの意見を原文のまま記載しております。

①富来田地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少の解消 調整区域の見直しを 高齢化が進む中で医療が少ない 整形・外科・眼科など ふくちゃんバスの運転手が少ない 高齢になっても安心して生活できるまちをつくりたい 人口14万人の目標（市） 富来田地区は市の目標とかけ離れている 水道の口径が少ない 家が建たない 日泉近く 馬來田の太陽のところに信号機を設置してほしい ポルシェ通りに抜ける道の交通量が増加、交通安全面を高められないか（高齢者も多い） 道路に歩道が少ない 諏訪神社の交差点の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 国道沿いの開発を ガソリンスタンド・レストラン・etc… スーパー・商店がない。買いたい物が業務スーパーではない スーパーがなくなった 商店が欲しい 買物する場所が少ない ボランティア活動 農作業など地域で行えるものは地域で行う 市街化調整区域をはずして欲しい →住民・業者に使いやすい形にして欲しい←企業誘致を積極的に進める 	
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> 水道の口径が少ない 家が建たない 日泉近く 医療・災害に強い 		
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の活用 医療機関が少ない 消防力 消防団員が減っている 子供の安全に遊べる場所として公園が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 神社前信号危険 交通安全対策の充実、諏訪原の交差点の間路？を解消してほしい ショッピングモール・スタンド 馬來田駅前活性化・商店・市の土地活用 いっせん木・草刈・整備を地域全体で 空き家問題 災害時でも安心のまちづくり 中小河川整備 商店街の整備→住みやすいまちづくり コンビニの誘致（駅前） 	
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> 子供の遊ぶ場所が少ない 公園を作ってほしい 子供たちの遊び場 	<ul style="list-style-type: none"> 市の管理する公衆トイレの設置 久留里線を守る 	
カネ	<ul style="list-style-type: none"> 公園が欲しい 避難場が少ない 武田川の水のにごりが多くなっている 富来田エリア高齢者のタクシー券の配布金額を上げて欲しい デマンドタクシーの創設 市の介入で 高齢化に対応したまちづくり まち協が行っているふくちゃんバス ボランティアでは限界、行政が介入した移動支援を 地域内に買い物ができる場所が欲しい 地域内の循環バスがあってもいいのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 消火栓が欲しい 安心安全で生活まちづくり インフラ整備を力を 都市計画道路を 下郡-大稲線 財源 都市計画税 	
カネ・その他		<ul style="list-style-type: none"> 中学校奥道路が狭くなっている 若い人の県外からの移住を促進 定住魅力をアピール 里山を活用する 施設の整備→地域の魅力を高める 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを高める 集まりが少ない 担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> 事業継承センターの設立 事業継承 後継者がいない・事業を丸ごと継承させる

②岩根西地区まちづくり協議会・岩根東地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物難（移動スーパーが周辺にあると良い） ・全員参加の分担で分かり合う地域を創る。声を掛け合う。 ・少子高齢化社会の課題をかかえる中、行政（公助）だけは限界、民（住民、産業界）協力できる場、共助ができるか ・福祉避難所への直接避難を可能に！※要支援者の見直しにより、今後障害者・要介護者の地域支援が増える！ ・空き家対策：申請しても手続きが難しく進行しない。また行政側の形が見えない。 ・Jアラート発令時の対応（シェルター構築） ・危機感の不足、ヒナン訓練者「少」、学校教育 ・雑草：歩道が狭く ・万石地区内：交差点の事故が多い、カーブミラーの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭礼⇔町内会のイベント ・行政担当課との話し合いは理解が深まりつつあると思ったとたん2年で担当がかわってしまう。話が深まらない。 ・防火防災に強いまちづくり（住宅用火災警報機の設置、住宅用消火器の設置、感電ブレーカーの普及、防火施策の実施） ・木更津駅の木更津市の顔にする改革 ・岩根駅に快速を停車 ・新住民と旧住民のふれ合い、話し合い不足 ・人を集める施設（例）ドイツ村、南房総 ・木更津港の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の今後の在り方→地区の整理、組織の見直し ・空き家が増えてきて自然災害等、火災の不安がある。 ・公民館にエレベータ又は1人乗りエスカレータの設置を※長じゅ化対策 ・放棄地が樹木が繁殖し、害じゅうの住処になっている。（例）はくびしん※地元で勝手に手出しできない→やって良いか。
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の役の担い手が困難となり、入会者減少。活動継続危機 ・高齢の方が多く子どもの人数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と関係していると担当課がたて割りになって、共通に話し合うようなテーマが進めにくい。（高齢者問題、防災問題、交通問題） ・小規模でも良いので、子供が遊べる公園をちょっと行ってみようという近所に作る ・クルーズ船など港を活かす（大型でなくとも） 	
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・防災（耕作放棄→火災） ・一人住まい世帯が今後増えると思われ！安心安全に暮らしていくための方策は何！ ・老人から若い人に役割を移行しないと役割分担がむずかしくなる ・避難場所、避難所の設置、整備、充実 ・岩根地区排水路の確保 ・岩根西地区：水害対策、排水対策、水門設置 ・防災・井戸の保存 ・ドローステーション（防災、農業、など） ・高潮、河川はらんのような溢水で避難行動が明確にされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園少ない→遊具の充実→住民の満足 ・新住民との連携（町内会、消防団の減少を止める） ・路線バス等公共の移動手段が少ない。車での移動がほとんど ・江川総合運動場、久津間・防災公園キャンプ場、直売所（人の流れを作る） 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家（防犯、火災） ・駅周辺における再開発・道路、駅ロータリーの拡張・高速バス便数、岩根駅に総武快速の停車、木更津川崎カーフェリー ・スマートシティの構築：インフラ、電気、コンパクト化（SDGs） ・グリーンシティ木更津の構築、カーボンニュートラル木更津 ・過疎地の交通手段の整備 ・生活用水路の整備 ・ゴミ集積場所、カラス被害、鳥獣被害対策 ・調整区域内の農業 ・農業用水路の整備 ・小規模開発（無チツジョ）：要項（ハードル）が低くなっているため人口を増やすことに注力？もっと土地・地域考えて。 ・岩根駅に快速を
モノ・カネ		<ul style="list-style-type: none"> ・老年人口は増加が減少に移り、労働人口も増加しているが、減少に移る。 ・幼年は減少して木更津市の人口は全体的に減少する。財政は良いが悪くなる。 ・新鮮でおいしいの交流をアクアラインの外に交通手段を考える。潮ひがり、地ビキ網、アウトレット、コストコ、体験農業 ・木更津～君津間に新駅を 	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道→住環境
カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会など地域の役員などの成り手がいない ・町内会の役員の後任がなかなかみつからない！何か良い方法は？ ・行政の定年制の上限を作り地域の役に立つ役割を行う。定年の後は地域へ ・防犯の拡大（監視カメラ）、野火、火災対策、放棄地整備、助成 		<ul style="list-style-type: none"> ・どうなる久留里線！どうする久留里線！木更津市民としてどうする！
カネ・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨時水路レベル確認に地元の関係者が現地に向くことの解消を。 ※人災リスクの減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス（地区内、各病院） ・岩根駅（JR）東口改札口は出来たが、総武快速停車を実現して欲しい！ ・古い市営住宅を廃止し、多目的広場等に利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・数十年前に建設された道路がバリアフリー化されないまま放置されている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・人任せにしないで自分で行う。出来ない人の手助けをする。 ・（中島商店付近）横断歩道の設置を要望したが何の返事もなし。市民とのやりとりをしっかりと。 ・西中学校の外壁塗装がメンテナンスされていない。 ・AI活用で業務改革 ・SAF改修ステーション ・フラワー通りの通学路のけやきが舗装をもちり上げている。また、枯葉山がすごく清掃してくれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ（交通網：バス、駅のロータリー） ・インフラ（高速バス：駐車場、送迎） ・テーマパークをつくる、または誘致する ・映画、ドラマ、CMなど ・全国大会（スポーツ）を開ける施設をつくる（体育館、スタジアム） 	<ul style="list-style-type: none"> ・盤洲干潟の次世代に引継を。※保全活動の現状は？ ・里山の開発、移住の拡大（ハーブ園等） ・オビツ川とふれあいができる場所がほしい。

③金田地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援策up 高齢者支援策up 安心して住める災害対策（津波対策） 渋滞対策 子供、高齢者に安全な街。孤独死のない、独り者の見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 他の移住したい町の調査（印西市等）→何が人気の理由なのか、木更津に何が足りないか改善点を見つける 地域社会コミュニティを尊重するまち 	<ul style="list-style-type: none"> 現在草があるところを整備して駐車場にする
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> 家・人・車も多くなりました。にぎやかになるのは結構ですが事故が多い 新住民の自治体への加入者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 転入者の自治体への入会 転入者が孤立しないまちづくり 人口の増加 子育て世代の定住促進 各公共施設・商業施設にオムツ交換台や遊び場の設置 子育て支援館の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅開発について、小規模開発が多く全体的に開発整備ができていない
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 警察駐在→交番に格上げしてほしい 子どもの塾が少ない、木更津駅まで安全に行ける交通機関がほしい 医療体制の充実、救急医療の安定体制づくり 大学病院が来てほしい 明るい街 入院できるような病院があるとよい ケアマネージャー事務所が少ない ショートステイ対応施設が増えるとよい 避難要支援者の対応をどうしていくか（自助、共助をすすめるためにどうしたらよいか） 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅、トイレ、休憩所の作成 ファミレスが欲しい 中郷地区：金田の次にアクアラインに近い場所なので宅地を開発しやすいように整備（高齢化が進み自治活動の困難化） 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地（購入しやすい価格）だが津波が心配 市民会館の新築（陸上競技場は整備されたが文化の中心がないので…） 公園の整備（子どもの遊び場、避難場所、市民憩いの場としての整備）
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> ゴミステーションをもっと作ってほしい アウトレットを含む周辺の交通 ごみの回収方法 児童・生徒が通学路として使う学校周辺の道路に注意を促す路面塗装 自転車用道路の整備 地域コミュニティの充実、近所づきあい 	<ul style="list-style-type: none"> 湾岸道路の整備 金田～駅前交通アクセスの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 土地の活用でまだ決定されていないところがあるので早く売買してほしい
カネ	<ul style="list-style-type: none"> 道路が良くなり便利になったが田の中の細い道まで他ナンバーの車が無理やり割り込んできて危険である 車が多くなりはっきりとした標識がなく危険な交差点が多い、カーブミラー等の設置を希望する 	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナルハブ化の実現 駅前・市役所の駐車場について 	<ul style="list-style-type: none"> 潮干狩りが混むので迷惑 路線バスが欲しい 東京方面のバス乗継がありますが全日返る足、駐車場ない
カネ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 土日、祭日等は交通渋滞が発生しており15時以降は自宅から出られない 渋滞のない道路が欲しい（アウトレットへのアクセス改善） 中野畑沢線の完成 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 道路路肩の草刈りの実施 信号機の設置 道路の整備 ゴミの不法投棄が多い ゴミ分別が難しい 住民が安心して暮らせるまちづくり、持続可能な交流づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸沿いの道を整備してマラソンや自転車、散歩に利用できる素敵なまち 学校教育と商業施設の連携（金田小中とアウトレット等の連携→地域活性化） 	<ul style="list-style-type: none"> 東京等都心へのアクセスが市内No.1→交通改善、若い世代が多くなりよりよい街に 海があることの魅力。水産、観光、教育と連携し、将来へつなげる

④鎌足地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者でも安心安全に暮らせるまち ・人口減少 特に若者 ・住宅地の造成による人口増を図る ・人口減少 ・定住・人口増により子どもたちが増え活気があふれるまちづくりを図る ・高齢者支援の充実（高齢者の足など） ・地域住民の高齢化 ・外国人労働者交流 ・安心な鎌足地区づくり⇒防犯体制の充実。主な道路への防犯カメラの設置 ・自然豊かな鎌足に家を建てたい人への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるまちづくり 活力 ・鎌足桜を中心とした公園の充実 ・子育て支援の充実。小中学校の通学にスクールバスの活用 ・少子化対策 近所に子供がいない ・少子高齢化⇒人口減少 ・少子高齢化 ・市街地との地域格差 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された豊かな支援 ・環球貿易撤退要求！ ・アカデミアで働く人が増えているので地区に住宅地を造成する ・人と人とのつながりの強化
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化対策 ・高齢化し、住民が少なくなる現状打開のために少し調整区域をはずして活性化を計る 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の拡充。プール・運動場・野球場 ・矢那の農産物のブランド化 ・グリーンツーリズム アグリーツーリズム⇒移住者⇒連携する 	
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・交通環境の充足 デマンドタクシー等 ・文化的施設を誘致する ・土地の有効利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化 ・少子化ストップ ・生活の利便性を図るために道路整備を図る ・農産物を持ち寄って行う 朝市とかマーケットなどを行い、広く近隣の人に地域の良さをアピールする ・移住者に優しい地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地に近い農地の宅地化へ ・自然豊かな景観維持※田園風景など ・暮らしに必要な足の確保。市バスに代わるデマンドバスのような便利に使えるシステムを拡充してほしい。 ・生活環境 ・買い物 ・高齢者が安心して生活できる鎌足⇒「足」の確保
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯体制の充実について 防犯カメラを数多く設置 ・消防団問題 ・地域消防の統合 5分団3コ部を1か2部に 	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミアに会社が進出しているので地元の職員採用をしてほしい。 	
カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯の充実 安心安全なまちづくり 防犯カメラ設置 ・ポテンシャルが活かされていない ・自然豊かな地域の特色をいかした自然観察や運動のできる公園を作る ・耕作放棄地の増大 	<ul style="list-style-type: none"> ・モータースポーツ推進 ・アカデミアの活用。地域との連携 ・有害鳥獣被害 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策推進 農業振興 ・鳥獣対策
カネ・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌足をウォーキング、ランニングの地に 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策 有効活用 ・イノシシ対策にもっと費用をあててほしい 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・矢那川の整備 水害の未然防止 良好な景観造り ・規制緩和 ・保全と利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・マダケのタケノコで特産品 ・商業施設 歩いて行けるところにお店を ・インフラ整備の遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの無い街不法投き ・公園の除草 ・空き家問題 ・道沿いの草刈り作業

⑤中央地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備 ・太田山公園の整備
ヒト・モノ			
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・中野畑沢線の整備（交通安全対策の充実） ・田茂通りに歩道 ・神社・寺院の活用 ・水害への対応（対策） ・歩道、側溝の整備 ・消火栓、消火器の設置 ・防犯カメラの設置 ・災害に強い街づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をする場所がない（高齢者） ・吾妻にできる文化施設との関連性 ・駅、金田、潮浜アカデミアとの連携 ・芸術文化地域への交通手段 ・東、西の連携 ・吾妻公園までの導線 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の管理
モノ・カネ			
カネ			
カネ・その他			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人のマナー、生活文化の違い 		

⑥請西・真舟小地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の良好な交流 ・集会所をフル活用 ・真舟地域の高齢化、認知症が増えている →認知症高齢者に優しい街 ・行きたい場所になるべく自由に、なるべく楽に、なるべく安く移動することができる街 	<ul style="list-style-type: none"> ・今いる子供が将来も住み続けたいと思ってくれる地域 ・請西南公園、平地がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園敷地内に桜の木が欲しい。各公園少数だと思う ・観光資源としての自然を中心に周辺の整備（安全に、近代的に）
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で楽しく活動する ・木更津駅前ロータリーが狭い（ローソン店が拡張した） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで交流のある地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて健康づくりができる街（公園に足湯とか）（庭園が整備されている） ・桜並木のような道
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通がもっと便利になると通勤、通学、買い物交通弱者には助かる（コミュニティバスの推進） ・請西、真舟から駅までのルート ・バスの本数が少なくて親の送迎が大変 ・自助、共助で安心して暮らせる地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞の改善 ・歩道の設置 ・狭い道路の解消 ・一時停止の設置 	
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・交通機関で移動ができるといい ・外国人が増えてきているので防犯灯の設置。真舟のような青いランプを請西にも設置してほしい ・交通費の助成（大学の通学など）、障がい者へのタクシー代助成、ガソリン代の助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が楽しめるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションに悩まないまち
カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・降水時、志学館高校マイカーが多い、渋滞する 	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子方面に大学が多い、木更津市内でも大学ができるだけの用地はあるが… ・人が木更津に集まって活性化する 	
カネ・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の整備 ・交通事故の少ない街 ・移住者にやさしいまち ・高齢者が安心できる街 		<ul style="list-style-type: none"> ・魚を釣れる場所が欲しい ・栈橋を海側に伸ばす ・親子で遊ぶ時間を
その他			

⑦中郷地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 中郷の米（おいしい）何かに利用する 魅力ある職場がたくさんある、子ども達が就職したいところ 自然を大切にする姿勢→ピオトープ、農業体験 中学校がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 農地は誰が継承するのか 地域活動の担い手不足 子供が少ない 人口減少率が高い 働く場所が少ない 人口減少・高齢化 少子高齢化 人口減少 若い人が出てしまう 交流人口や若い世代を呼び込む拠点となりうる 農振農用地であっても、地域未来投資法で広大な面積を転用することが可能であるはず 土地の利用方法→どのようにPRしていくか 農業の担い手がいない ゆるやかな人口増加 乱開発の防止 地下評価額 企業の誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 空気がきれい、富士山が良く見える 仲郷の特産物（梨、とうもろこし）→後継者不足で存続可能か 地域の姿・役割を守る→木更津の米どころ、富士山の見える地域 自然が豊かであること 空き家バンクで家・土地をもらうことができる ゴミがなくクリーンな街 産業廃棄物が集まらない 基幹道路の整備→物流の強化・観光育成
ヒト・モノ			
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 隣町との道路接続が必要 道が狭い 歩道がない 大型ダンプの通り抜け スクールゾーンを設ける 道路が抜道となっている 農振農用地の指定で規制が厳しい 建築制限が厳しい 調整区域で建物が建てられない（建てにくい） 市街化調整区域 団地など新住民が来ない 空家増えている 行政ルールや規制が現状に合っていない（改善されていない） 消火栓がない 地域の歴史・文化遺産の広報、教育 菅生貝塚・もうだ布 	<ul style="list-style-type: none"> 住民による危機管理や活力の維持が難しい 買い物ができる場所 畑や田んぼの利用（農業やそれ以外） 高齢化 全国から人が訪れるようなイベントや祭りがあると良い 	<ul style="list-style-type: none"> コンビニがない お店がない 商店がない コンビニ・飲食店等の誘致 住宅地がほしい 交通の便が良い 新しい家が建てられない 免許がなくなったら生活できない
モノ・カネ			
カネ	<ul style="list-style-type: none"> 動物と畑→いっしょにやりたい、ドッグラン 住宅が建てられなるようにしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 子供が遊べる公園がない 田園の観光化→例 見沼たんぼ お祭りが続き花火があがること 	<ul style="list-style-type: none"> 風が強い 休耕田を売らないでほしい→ヒマワリ（花を植える） 市の税金が他の市より高い 耕作放棄地を公園にする ブランド力のある農産物
カネ・その他			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 都心に近い 首都圏に通勤・通学ができる 中郷地域は、広域交通の結節点になりうる土地 インターチェンジのある街をどう生かすか 条例改正で、昭和44年以前の建物であれば購入者はその土地に家を建てることのできる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域外の子どもを受け入れ、地域で育てる 子供たちの学区が自由に選べるため、子供が少なくなる 企業誘致できると良い 中郷で見ることができる動植物の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 原風景を守る→ストックヤード反対！ バズる景観 ドラマのロケ地、聖地化 アクアライン連絡道の周囲の利用方法 連絡道の側道が賑やかになるとよい

⑧八幡台小学校区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活カづくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・まち協について→市からの要望がまち協負担大…、これ以上は疲弊してしまう ・医療機関→八幡台にはない（高齢者増だけど…）	・飯・飲食店がない→集う場所	・獣害→イノシシ・鹿・キョン・アライグマ・ハクビシン
ヒト・モノ			
モノ	・空き家対策→独住・孤独死、防犯、ネコの住み着きで近所トラブル ・自治会→入会は任意の風潮、市がもっとプロモーション	・港→木更津港の活用、フェリー新規航路 ・地域事業（むすびつき）→スポーツなど（たこあげ、ちびっ子マラソン、スポレク大会）	・交通対策→広い歩道に自転車の通行路 ・交通→高速バスの乗り換え ・道路→街路樹などの劣化 ・交通対策→羽鳥野バス停休むスペースがない ・コミュニティバス→八幡台のNPOライフサポート波岡、利便性よく需要はあるが資金難、市からの補助金なし ・アクアライン→6車線化、モノレールを木更津駅まで ・孤立の可能性？雪が降ると車が立ち往生して帰れなくなる？
モノ・カネ			
カネ	・防災対策の強化→給水拠点、上島田の自噴湧水、水質検査 ・ハートケア八幡台の貯水槽を使えるように連携している ・防災対策の強化→非常電源、ソーラーを持っている家庭との連携、避難所にソーラーの設置 ・防災対策の強化→行政無線の災害時の連絡が一方通行		
カネ・その他 その他	・老人対策→老人施設が少ない、特養少ない	3地区の連携→市からの支援もほしい、とても良い関係	

⑨波岡西地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活カづくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	・地域の高齢化 ・高齢化対策（アクセスの確保） ・防災訓練への呼びかけ参加を！	・在来居住者と新規居住者の意見のまとめ ・世代別の興味・意識のズレ ・町内会の活動、交流なし（活性化に期待！）	
ヒト・モノ			
モノ	・防災拠点の整備 ・避難所の収容キャパ・資材の確保	・地域ねこの問題 ・スポーツ施設がない ・町内会に参加する異議なし？→まち協の先導！	・バス代が高い ・地域の空き家 ・ボランティア（有償）によるオンデマンドバス 港南台、畑沢+（八幡台、大久保） ・君津中央病院を核にした交通機関を充実させる ・中野畑沢線の完成 ・中野畑沢線の早期開通 ・大久保駅を復活させる ・波岡交差点にもう一つ港南台から国道に通じる道を！ ・公共交通の充実（中心市街地へのアクセス）
モノ・カネ			
カネ			
カネ・その他 その他	・災害発生時の避難方法		・市と地域（まちづくり協議会）の関係性の明確化

⑩波岡公民館地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちなぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へ日常利用、相談できる人、組織を明確に周知する ・高齢者の引きこもり対策 ・課題を抱えた子・親・家族へ支援・相談体制の充実→現在は少なすぎ、週2回の相談日に ・福祉の意識向上（助け合い） ・高齢者の通院、買い物支援 ・高齢者が多い→小売店、移動スーパーなどの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や高齢者の交流の場の充実 ・子供が立体的に遊べる環境づくり ・見守る人の育成 ・子供から大人まで気軽に集える場所づくりを提供 ・丁目毎の交流する行事がない ・当地区のにぎわいが少なく、イベントづくりを行う ・ミドル世代の交流社会参加の企画 	
ヒト・モノ			
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関までの移動手段が限られている、多様化する ・坂道が多い、移動手段、コミュニティバス、オンデマンドタクシーなどの導入 ・買い物できるところが近辺にない、スーパー等までの移動手段がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、まち協への参加者の増加、地域コミュニティの復活 ・地域コミュニティが活発に活動できる人の交流を生む企画 ・空き家の植栽、防災・防犯・大災の心配 ・空き家の増加 ・防災、7丁目に分かれて防災機材・備品があり、全体の集約が必要 ・地区内の若い人、優秀な人材をまきこむ 	
モノ・カネ			
カネ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が力をつけていける学習の充実、社会教育の内容、担当者の育成 ・災害時で住民個人の家での備蓄品及び機材の把握、可能な限り ・防災、大きな地震が発生したとき、支援が必要な人へのサポートを行う ・減災への個々の意識を求めていく 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育予算を多く
カネ・その他 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボックスの設置（詐欺被害等の防止） 		

⑪西清川まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 西清川と八幡台で実証事件が計画されているが背景と計画が見えない ゴミステーションへの不法投棄 →犯人捜しはできないのでみんなで掃除 ゴミのない街がいい →ゴミ拾いを行う まち協と市職員の具体的な連携がとれていない 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ 高齢者の居場所づくり 教育 	
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのリアル食事情が知りたい →統計をとる 		
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の事情を知りたい 地域コミュニティの活性化につながるまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者は多いが町内会や子供会に入る家庭が少ない 空き家が多くなってきて、安心感がない。交流したい人が外に出てこない 要支援者名簿の具体的な支援連携活動ができていない
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの笑顔の根底＝おなか一杯食べられているかどうか 		<ul style="list-style-type: none"> 人が集う場所があるのに移動するのに時間や身体に支障がある。改善・対応してほしい 田畑に太陽光パネルの設置 エネルギーの地産地消 遊具がほとんどない小学校や公園が多くある 市で補助できないか
カネ	<ul style="list-style-type: none"> がけ崩れ・浸水対策の徹底 		
カネ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強いまちづくり 2019年千葉県台風などに対するその後の取組ができていない 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 歩道がない、狭い 夜になるとかなり暗い 街灯を増やせないか 		<ul style="list-style-type: none"> 害獣対策 中心市街地に近く住みやすい 移住者を呼び込むといい 道路の状態が悪く歩きにくい。国道沿いの歩道が狭い

⑫清見台・太田地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 自治体の維持存続が難しい 住民は全て町内会に入会すること 子供会の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに頼ることに限界がある 	<ul style="list-style-type: none"> 野良猫の問題。市負担で対応希望 ゴミ収集場の管理 市が主体でリードする ゴミステーションに不法投棄が見受けられる
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の役員なり手がいない 高齢化で会からの脱退増加 若い人が多くなっているが入会者は少ない 消防団のなり手がいない 		
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 町内会会長の負担が重すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の遊具を新しくする、増やす ゴミ置き場が少なくあふれているところがある（一か所に集中） 公園の整備と管理の向上（樹木、遊具、ベンチ）
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> 防災への関心が非常に低い 防犯カメラを市で設置してほしい 		<ul style="list-style-type: none"> 空き家の管理 有効利用の検討・推進 空き家をなくしてほしい
カネ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがいる世帯にもっと補助を 		<ul style="list-style-type: none"> 道路標識が落下して交通が守られていない
カネ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 消防団への補助金は町内会が負担しているが、町内会会員が減れば負担が増える 		<ul style="list-style-type: none"> 街路樹をしっかりと管理してほしい
その他			

⑬東清川地区まちづくり協議会

	選択テーマ1 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	選択テーマ2 まちのにぎわい・活力づくり	選択テーマ3 まちの快適・うるおい空間づくり
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> オンデマンドタクシーを走らせる 市役所利用者の無料巡回バスを市内全体に広げる 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の移動が不便。オンデマンドタクシーを。 東清川地区で始めようとしているオンデマンドタクシーを早く実現してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史を活かしたまちづくり
ヒト・モノ	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の配色利用可能条件の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 移動するのに大変不便。これを改善すれば生活そのものが良くなる 	
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが多い地域に保育園を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 駅を中心とした地域の活気を取り戻すためのまちづくりを 	<ul style="list-style-type: none"> 木更津氏の本である椿をもっと植えて椿公園を作る 藤原鎌足伝説の鎌足桜をもっと植える。鎌足桜公園を作る
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの普及 	<ul style="list-style-type: none"> 金田地区への移動手段を増やす 	
カネ	<ul style="list-style-type: none"> 物価上昇に見合った市民生活の向上のために市立ではない支援を 年収基準の引き上げを 	<ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシー計画の早期実現と市からの補助を多くしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> アクアコインの使用法
カネ・その他	<ul style="list-style-type: none"> 保育料の無償化 ゴミ袋を無料に 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 物価上昇に見合った年金の引き上げを 木更津市の大部分は火燃が禁止されたが安全な燃やし方を研究して行っている ボルシェロードがうるさい 	<ul style="list-style-type: none"> アクアラインに電車を通す 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミステーションの管理体制見直し 野良猫対策に地域猫活動の活性化 犬の糞尿放置への罰則 毎朝晩の交通渋滞が起きる朝日庁舎前から港のカーブまでの渋滞解消施策を

5. RAIDA-AI を用いた木更津市の現況分析

■千葉県木更津市 基礎分析サマリー

人口増減
<p>「木更津市では自然減少が進行する一方、転入超過による社会増加が人口減少を緩和していることが課題です。」</p> <p>出生数減少と死亡数増加による自然減少が続く中、転入超過による社会増加が総人口減少を一定程度抑制しています。今後は出生率改善と転入者定着策の両面から人口維持策が必要です。</p> <p><優先的に取り組む地域課題></p> <p>木更津市では、自然減（出生数減少・死亡数増加）が進行している一方で、転入超過による社会増が人口減少を緩和しています。</p> <p>したがって、今後優先的に取り組むべきは「自然減」への対策、すなわち出生率の改善や子育て支援などによる自然増の促進です。社会増（転入者定着策）も重要ですが、自然減が大きな課題となっているため、まずは自然減対策を優先することが望ましいです。</p>
社会増減
<p>「生産年齢人口の若年層流出が続く一方、30代を中心に転入が増加していることが課題です。」</p> <p>木更津市では15～19歳の若年層で大幅な純流出が続いており、地域の将来を担う人材の流出が懸念されます。一方、30代を中心に純流入が増加しているため、若年層の定着策や転入者の地域定着支援が重要です。</p> <p><優先的に取り組む地域課題></p> <p>課題①：若年層（15～19歳）の流出防止</p> <p>木更津市では15～19歳の若年層の純流出が続いており、地域の将来を担う人材が市外へ流出していることが懸念されています。若年層が市内に定着できるよう、進学・就職支援や魅力ある地域づくりが求められます。</p> <p>課題②：30代転入者の地域定着支援</p> <p>30代を中心に転入者が増加しているため、転入者が地域に根付き、長期的に居住できるような支援が重要です。住環境の整備やコミュニティへの参加促進など、転入者が安心して暮らせる仕組みづくりが必要です。</p> <p>課題③：生産年齢人口のバランス維持</p> <p>若年層の流出と30代の転入が同時に進行しているため、生産年齢人口のバランスを維持することが課題です。各世代が地域で活躍できるよう、世代間交流や多様な働き方の推進など、幅広い世代への支援が求められます。</p>
自然増減
<p>「木更津市は出生率が全国平均を上回るが、自然増減は依然としてマイナス傾向にある。」</p> <p>木更津市の合計特殊出生率は全国平均より高いものの、人口維持に必要な水準には達していません。未婚率の低さが出生率を下支えしていますが、出生数が死亡数を上回る自然増は見込めず、人口減少対策が重要です。</p> <p><優先的に取り組む地域課題></p> <p>課題①：人口減少の抑制</p> <p>木更津市では出生率が全国平均を上回っているものの、自然増減はマイナス傾向にあり、人口が減少しています。今後も人口減少が続くことが予想されるため、人口減少の抑制が喫緊の課題です。</p> <p>課題②：出生数のさらなる向上</p> <p>合計特殊出生率は高いものの、人口維持に必要な水準には達していません。出生数をさらに増やすため、子育て支援や若年層の定住促進など、出生数向上に向けた施策が求められます。</p> <p>課題③：高齢化への対応</p> <p>自然増減がマイナスである背景には、死亡数の多さも影響しています。今後も高齢化が進行することが予想されるため、高齢者福祉や医療体制の充実など、高齢化への対応が必要です。</p>

■RAIDA-AIによる分析：項目別

千葉県木更津市 人口推移
<p>分析の視点</p> <p>地域の働き手として区分される生産年齢人口と、被扶養者となる年少人口、老年人口の3区分に分けて人口の推移を分析することで、人口構造の変化の傾向を大まかに把握します。少子高齢化の進む日本では、老年人口のみ増加傾向にある地域が多いです。</p> <p>分析結果</p> <p>「木更津市では年少人口が減少し続け、生産年齢人口も減少傾向、老年人口は増加傾向が続いています。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年少人口 <p>1980年から一貫して減少傾向にあり、2020年以降も緩やかに減少し、2050年には1980年の半分程度まで減少する見込みです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産年齢人口 <p>1995年をピークに減少傾向に転じ、2020年以降も減少が続き、2050年にはピーク時よりもかなり少ない水準になると予測されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●老年人口 <p>1980年以降増加が続き、2020年以降も増加傾向が続きます。2050年には1980年の5倍以上となり、今後も高齢化が進行する見通しです。</p>

千葉県木更津市 人口ピラミッド

<p>分析の視点</p> <p>人口推移の年齢3区分をさらに細かく5歳刻みで捉えることで、年齢構成の変化をより詳細に把握できます。少子高齢化が進行している地域のピラミッドの形状は、人口のボリューム層が高齢者に偏った「つぼ型」形状となります。</p> <p>分析結果の例</p> <p>人口ピラミッドの形状は、2020年→2045年にかけて少子高齢化がさらに進むことで、より逆三角形に近い「つぼ型」へ変化。将来の推計値と比較することで、どのような構造的な問題（高齢化、少子化、世代抜けなど）が将来的に発生するのかが把握します。</p> <p>分析結果</p> <p>「木更津市では、年少人口の減少と老年人口の増加が進み、人口ピラミッドがよりつぼ型へと変化している。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口ピラミッドの形の遷移 <p>2020年は中高年層が多い釣り鐘型に近い形状でしたが、2050年には高齢層がさらに増加し、底辺が細く上部が膨らむつぼ型へと顕著に変化しています。特に若年層の割合が縮小し、高齢層の割合が拡大しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年少人口 <p>0～14歳の年少人口は、男女ともに2020年から2050年にかけて大きく減少しています。特に0～4歳、5～9歳の層で減少が目立ち、全体の底辺が細くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産年齢人口 <p>15～64歳の生産年齢人口は、全体的にやや減少傾向が見られますが、特定の年齢層（50代～60代前半）で割合がやや増加しています。若い生産年齢層の減少が顕著です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●老年人口 <p>65歳以上の老年人口は、男女ともに大幅に増加しています。特に80歳以上の高齢層で割合が大きく伸びており、ピラミッド上部が大きく膨らんでいます。</p>

千葉県木更津市 人口増減

分析の視点

人口推移の年齢 3 区分の増減率を捉えることで、区分ごとの変化の傾向、度合い、スピードをより詳細に把握します。少子高齢化の進む日本では、老年人口のみ増加傾向にある地域が多いです。

分析結果

「木更津市では年少人口と生産年齢人口が長期的に減少傾向にあり、老年人口の増加も徐々に鈍化しています。」

●年少人口

年少人口の増加率は 1985 年から一貫してマイナスが続き、特に 1990 年代に大きく減少しました。2010 年に一時的な増加が見られましたが、その後は再び減少傾向となり、2020 年以降もマイナスが続く予測です。

●生産年齢人口

生産年齢人口は 1985 年に大きく増加した後、1995 年以降はほぼ横ばいから減少傾向に転じています。2025 年に一時的な増加が予測されるものの、2040 年には最も大きな減少が見込まれています。

●老年人口

老年人口は 1985 年から 2000 年にかけて大幅な増加が続きましたが、2015 年以降は増加率が徐々に低下しています。2030 年以降は増加率がさらに鈍化し、今後は緩やかな増加が続く見通しです。

千葉県木更津市 自然増減・社会増減の推移

分析の視点

地域の人口の変動要因である自然増減と社会増減の数と変化を分析することで、地域の人口の変化が自然増減、社会増減のいずれの影響をより大きく受けてきたのか把握します。一般的に、少子高齢化で自然減が拡大し、都市への人口流出で社会減が拡大します。

分析結果

「近年の木更津市の人口増加は、社会増減による転入超過が主な要因であり、自然増減の減少傾向が続いている。」

●社会増減数の傾向

2000 年代半ば以降、社会増減数は大きくプラスに転じ、特に 2007 年から 2010 年にかけては 1000 人以上の転入超過が続いた。2013 年以降も一貫してプラスで、直近では 1200 人前後の転入超過となっている。これは外国人を含む集計に変わった影響も考えられ、社会増減が人口増加の主因となっている。

●自然増減数の傾向

自然増減数は 2000 年代前半まではプラスだったが、2005 年以降はマイナスに転じ、年々減少幅が拡大している。2020 年代にはマイナス 700 人以上となり、2024 年にはマイナス 850 人と過去最大の減少となっている。出生数より死亡数が大きく上回る状況が続いている。

千葉県木更津市 出生数・死亡数/転入数・転出数

分析の視点

自然増減（出生数・死亡数の差分）、社会増減（転入数・転出数の差分）の内訳の傾向を分析することで、地域の人口増減の要因がどこにあるか把握します。

分析結果

「木更津市の人口変動は、長期的な自然減少傾向と、近年の転入超過による社会増加傾向が同時に進行していることが特徴です。」

●出生数

出生数は 1980 年代から 1990 年代後半にかけて 1,000 人前後で推移し、1997 年に 1,100 人を超えるピークを迎えました。その後は緩やかな減少傾向に転じ、2000 年代以降は 900 人台に落ち込み、2010 年には 800 人台後半まで減少しています。減少傾向は 1997 年以降継続しており、増加傾向は見られません。

●死亡数

死亡数は 1980 年代には 800 人台から 900 人台で推移していましたが、1990 年代半ばから増加傾向が始まり、2000 年代には 1,200 人台から 1,400 人台へと上昇しました。2010 年には 1,700 人を超え、増加傾向が顕著です。減少傾向は見られず、増加傾向は 1990 年代半ば以降継続しています。

●転入数

転入数は 1980 年代から 1990 年代にかけて 5,000 人台後半から 6,000 人台前半で推移し、2000 年代に入ると 6,000 人台を維持しつつ、2009 年には 6,500 人を超えるピークを記録しました。

増加傾向は 2000 年代前半から 2009 年まで続き、その後は横ばい傾向となっています。減少傾向は 1990 年が最小値で、その後は増加傾向に転じています。

●転出数

転出数は 1980 年代前半に 6,000 人台後半で推移し、1994 年に 4,500 人台まで減少し最小値を記録しました。その後は 5,000 人台前半から 5,000 人台後半で推移しています。直近では転入数が転出数を上回る転入超過となっており、社会増加が続いています。減少傾向は 1980 年代から 1994 年まで、増加傾向は 1994 年以降に見られます。

千葉県木更津市 合計特殊出生率と人口推移

分析の視点

地域の出生数に影響を及ぼす一要素である合計特殊出生率について、全国平均との差分や変化の傾向を把握します。一般的に都市部など人口密度の高い地域では、合計特殊出生率は低くなる傾向にあります。現在の死亡水準を前提とし、人口が長期的に一定となる出生の水準を「人口置換水準」と呼び、日本全体では約 2.1 人となっています。

分析結果

「近年の木更津市の人口増加は、社会増減による転入超過が主な要因であり、自然増減の減少傾向が続いている。」

「千葉県木更津市の合計特殊出生率は全国平均をやや上回るが、置換水準には届いていない。」

●合計特殊出生率の推移

1998-2002 年から 2013-2017 年にかけて、木更津市の合計特殊出生率は 1.35 から 1.51 へと緩やかに上昇しています。特に 2008-2012 年以降、上昇傾向が見られます。

●直近の合計特殊出生率の評価

2013-2017 年の木更津市の合計特殊出生率は約 1.5 で、2015 年の全国平均（約 1.4）よりやや高い水準です。しかし、人口が長期的に維持される置換水準（2.1）には大きく届いていません。

●人口推移

1980 年から 2030 年にかけて、男女ともに人口は増加傾向にあり、2030 年に最大値となる見込みです。その後は緩やかな減少が予測されています。

千葉県木更津市 地域少子化指標

分析の視点

合計特殊出生率の背景要因となる少子化指標（未婚率(女性)、有配偶出生率）を全国平均と比較分析します。分析結果「千葉県木更津市の合計特殊出生率の背景要因として、未婚率の低さが全国平均よりも出生率を下支えている可能性が示唆されます。」

●女性の未婚率

千葉県木更津市の女性の未婚率は32.49%であり、全国平均の39.52%よりも約7ポイント低くなっています。これは、木更津市では全国と比べて結婚していない女性の割合が少ないことを示しており、結婚している女性が多いことが出生率にプラスの影響を与えている可能性があります。

●有配偶出生率

千葉県木更津市の有配偶出生率は1,000人あたり71.03で、全国平均の70.35とほぼ同水準、わずかに高い値となっています。これは、結婚している女性が子どもを産む割合は全国と大きな差がないことを示しています。したがって、出生率の地域差の主な要因は未婚率の違いにあると考えられます。

千葉県木更津市 年齢階級別純移動数の時系列分析

分析の視点

社会増減の背景として、どの年代が多く転入し、転出しているのかを分析することで、転入を促進すべき、または転出を抑止すべき年代を把握します。下記のような傾向がよく見られます。

15～19歳→20～24歳の増減：大学進学を契機とした転出入

20～24歳→25～29歳：就職を契機とした転出入

65～69歳→70～74歳：退職に伴う転入出、老後の健康、介護を見据えた転出入

●年少人口の純移動数

全期間を通じて純移動数は一貫してプラスで推移しており、特に2005年→2010年は700人超と突出している。近年も400人前後の純流入が続き、年少人口の転入が安定している。

●生産年齢人口の純移動数

15～19歳は全期間で大幅なマイナス（最大で-2,000人超）となっており、若年層の流出が顕著。一方、2005年以降は20代後半～30代で1,000人前後の純流入が見られ、30代を中心に転入が増加している。

●老年人口の純移動数

老年人口は全体的に小幅なプラスか横ばいで推移し、特に大きな流入は見られない。近年は微増傾向が続いている。

千葉県木更津市 From-to 分析（定住人口）

分析の視点

社会増減の背景として、転入・転出先の上位となっている地方公共団体の傾向を把握します。下記のような傾向がよく見られます。

転出先：近隣のより規模の大きな地方公共団体への転出

転入元：近隣のより規模の小さな地方公共団体からの転入

分析結果

「木更津市の転入・転出は近隣市町村との間で多く発生しており、特に君津市・袖ヶ浦市・千葉市・市原市との人の動きが顕著です。」

●転出先の地方公共団体の傾向

2024年の転出総数5,039人のうち、上位4位は千葉県内（君津市443人、袖ヶ浦市422人、千葉市412人、市原市311人）で全体の31.6%を占めています。神奈川県横浜市（5位187人）、船橋市（6位121人）も上位に入り、近隣自治体や首都圏への転出が多い傾向です。

●転入元の地方公共団体の傾向

転入総数6,079人のうち、上位4位は同じ千葉県内（君津市634人、袖ヶ浦市400人、千葉市344人、市原市302人）で全体の27.7%を占めています。神奈川県横浜市（5位256人）、川崎市（7位183人）など首都圏からの転入も目立ちます。

【 RAIDA 】

内閣府地方創生推進室の提供する「地方創生データ分析評価プラットフォーム」

令和8年3月6日
内閣官房 地域未来戦略本部事務局
内閣府 地方創生推進室
ビッグデータチーム

地方創生データ分析評価プラットフォーム（RAIDA）における
RAIDA-AIの一般向け公開の開始等について（お知らせ）

地方創生データ分析評価プラットフォーム（RAIDA）について、さらなるデータ利活用の促進および利便性向上のため、一部機能の集約をさせて、自治体に限定して提供している「RAIDA-AI」を一般向けに公開しますのでお知らせいたします。

- 1 一般向けに公開する機能
RAIDA-AI（人口減少対策）
RAIDA-AI（観光振興）
- 2 提供開始日
令和8年3月12日（木）
- 3 RAIDA-AIの概要
◆選択した対象地域を統計データ等から自動分析して、分析結果を文章形式で表示
◆分析結果を踏まえた優先的に取り組む地域課題を表示
◆他の地域の分析結果を横並びで表示し、容易に他の地域との比較が可能

地域分析の“最初の1歩”をサポートする、「RAIDA-AI」を一般公開します。

「RAIDA-AI」とは

生成AIを活用したデータ分析支援機能。今まで自分で行っていた「地域に関する基礎的な分析を生成AIが自動で行う」ため、地域分析を効率的に行うことを支援するシステムです。
3/12(木)より、「人口減少対策」と「観光振興」の2分野の分析機能を一般向けに公開します。

- 👁️ 選択した対象地域を統計データ等から自動分析して、分析結果を文章形式で表示します！
- 👁️ 分析結果を踏まえた優先的に取り組む地域課題を示します！
- 👁️ 他の地域の分析結果を横並びで表示することで、地域間の比較が簡単にできます！

RAIDA-AI（人口減少対策）

人口減少対策に向けた地域課題を生成AIが分析します。



RAIDA-AI（観光振興）

観光消費の拡大に向けた地域課題を生成AIが分析します。

